

道

みち

公益財団法人 仏教伝道協会

No. 13

2024



**BDK**  
Newsletter

## 02 公益財団法人 仏教伝道協会 令和5 (2023) 年度の主な活動

### 1. 出版事業

- シリーズインタビュー「仏教聖典」を訪ねて  
「仏教聖典ボランティア」～地域と共に歩む「仏教聖典」  
浜島典彦師(日蓮宗総本山身延山久遠寺総務)
- 令和5 (2023) 年度 「仏教聖典」頒布状況
- 令和5 (2023) 年度 当協会その他出版物のご紹介  
\*「英訳大蔵経」出版状況
- 「輝け! お寺の掲示板大賞2023」開催
- 第10回「一日一訓カレンダーフォトコンテスト」開催  
\*第9回「一日一訓カレンダーフォトコンテスト入選作品 写真展」開催

## 09

### 2. 助成・表彰事業

- 奨学金事業報告  
\*「日本人留学生奨学金」制度のご紹介  
\*「外国人留学生奨学金」制度のご紹介
- 第57回「仏教伝道文化賞」贈呈式開催
- 令和5 (2023) 年度「助成金事業」報告

## 15

### 3. 啓蒙活動・支援事業・仏教講座の開催

- オンライン法話会「週刊法話ステーション」毎週ライブ配信中
- FM大阪「笑い飯哲夫のサタデーナイト仏教」シーズン6に突入  
\*公開収録@奈良・東大寺
- 「仏教伝道協会2023花まつり」開催
- 「仏教聖典を経営に活かす会・生活に活かす会」年間開催報告
- 「2021年沼田智秀仏教書籍優秀賞」受賞者記念講演開催
- 「野生司香雪展」開催
- 「先学に聞く」公開
- 第51回「実践布教研究会」開催
- 書道パフォーマンスおよび紙芝居会開催
- 「仏教を英語で学ぶ会 2023」年間開催報告
- 「仏教ヨガ講座」年間開催報告  
\*「特別坐禅会」開催
- 「ここを豊かにする精進料理教室～食を通じて仏教を学ぶ」開催
- 「お線香手づくり体験レッスン」開催
- 「体感する仏教(鎌倉編)」開催
- 「願いの一字コンテスト2024」開催
- 仏教初心者講座「一から学ぶ日本の仏教」年間開催報告  
\*特別編「くらべてみた浄土の教え」開催
- 令和5 (2023) 年度「BDKシンポジウム」開催  
\*第32回「石仏の魅力とフォト法話」  
\*第33回「人生のみちしるべ」  
\*第34回「新仏教教団を学ぼう」

## 32

ちょっとひと休み 現代人のための「月1精進料理生活のすすめ」

## 33

海外協力機関のご紹介 「BDKグローバル会議」開催

- 米国仏教伝道協会 ● ハワイ仏教伝道協会 ● メキシコ仏教伝道協会
- カナダ仏教伝道協会 ● アジア仏教伝道協会 ● ヨーロッパ仏教伝道協会

## 44

“ささえあって” 「改良(かいりょう)」



公益財団法人 仏教伝道協会

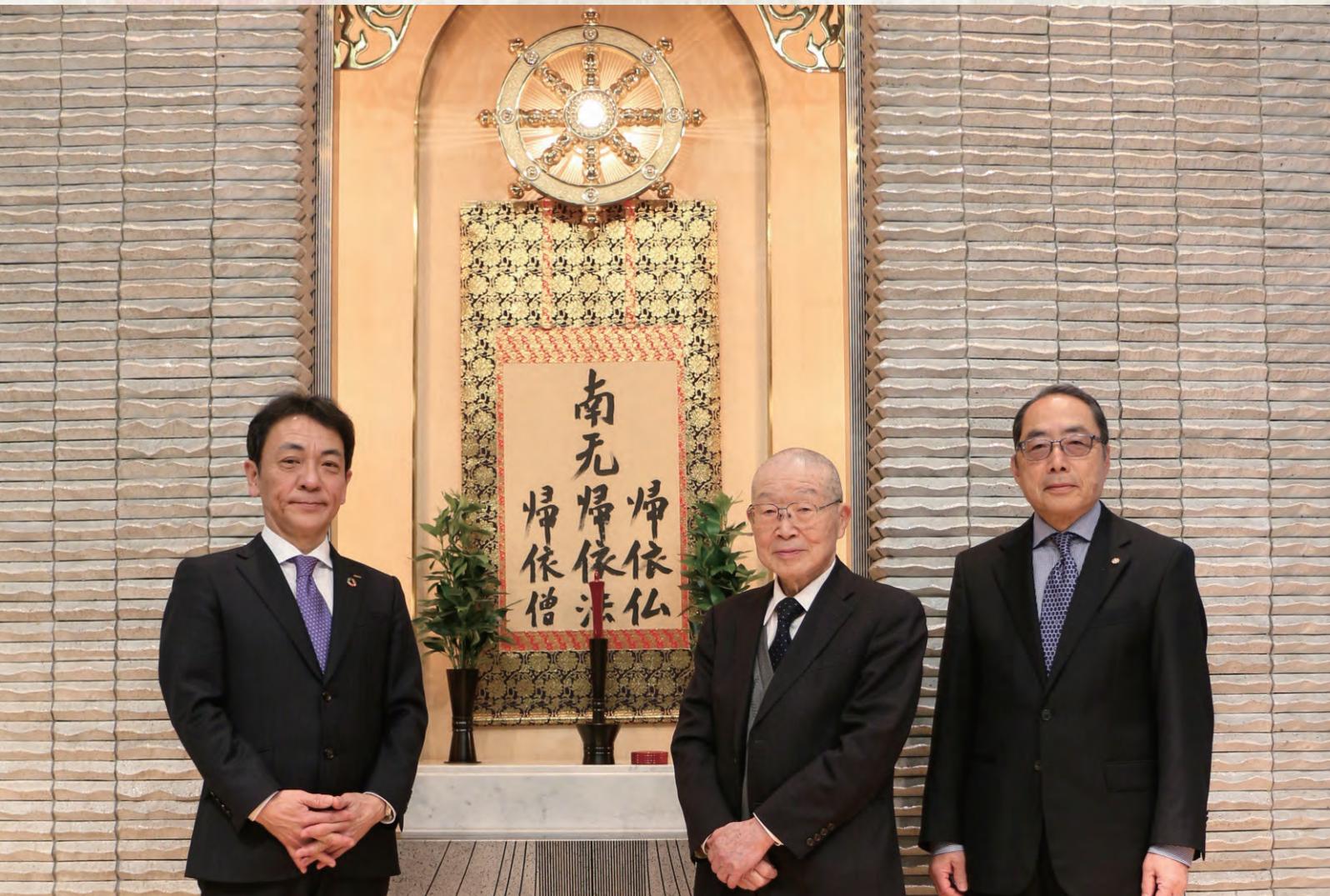
BUKKYO DENDO KYOKAI

BDKニュースレター No.13 2024-3,000

令和6 (2024) 年6月1日発行 (毎年1回発行)

発行 公益財団法人仏教伝道協会  
〒108-0014 東京都港区芝4-3-14  
電話: 03-3455-5851(代)  
FAX: 03-3798-2758

編集 江口 郁 (公益財団法人仏教伝道協会)  
印刷 株式会社アーク/デザイン 田所淳一



左から沼田理事長、木村会長、青木常務理事（仏教伝道センタービル8階にて）

公益財団法人 仏教伝道協会 会長 木村 清孝

日頃より仏教伝道協会の事業にご理解ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

令和5（2023）年は6月に桂紹隆氏が理事長を退任いたしました。桂氏は前会長 故沼田智秀氏の亡き後、理事長に就任し、その在任中、組織の先頭に立ち、「仏教聖典」の改訂や大蔵経英訳事業の推進、沼田仏教講座の充実発展等、当協会に多大なる貢献をしていただきました。なお、後任の理事長には沼田恵明氏が就任いたしましたことをご報告申し上げます。

当協会は令和7（2025）年には設立60周年を迎えます。その節目に、あらためて発願者 沼田恵範氏の「仏教をなんとかして世界に弘めたい」という願いを再認識し、これまでの活動を振り返りつつ、新しいテーマを見いだし挑戦すること、時代の変化に対応するあり方を再考していくことを念頭に、役員、職員ともに手を携え、邁進してまいります。

合掌

公益財団法人 仏教伝道協会 理事長 沼田 恵明

この度、桂紹隆氏の後任として理事長に就任いたしました。祖父、そして父と同じく仏教伝道協会に身を置くこととなり、深いご縁を感じています。何卒ご教導のほど、お願い申し上げます。

私は株式会社ミットヨの事業経営の責も担っておりますが、ビジネスを取り巻く環境は日々大きく変化しており、これらに対応するための新たな発想や取り組みの必要性を痛感しています。宗教界、仏教界も同様かと存じます。時代やツールの変化、多様化するニーズなどに幅広く対応した仏教伝道活動が求められていると考えます。設立60周年を機縁とし、全役職員とともに中長期の目標を立て、その実現に向けて努めてまいります。

何卒引き続き温かいご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

合掌



# 「仏教聖典」を訪ねて

## 「仏教聖典ボランティア」

### ～地域と共に歩む「仏教聖典」

◎取材協力：浜島典彦師（日蓮宗総本山身延山久遠寺総務） ◎場所：日蓮宗総本山身延山久遠寺（山梨県南巨摩郡身延町）

◎聞き手：増田将之（公益財団法人仏教伝道協会） ◎編集・撮影：江口郁（公益財団法人仏教伝道協会）取材時期：2024年3月



仏教伝道協会では、主軸事業のひとつである「仏教聖典」の頒布活動を継続的に行ってまいりました。ホテル・旅館などの宿泊施設への常備に加えて、寺院、医療施設、教育機関でも使用されるなど、さまざまな活用がなされています。新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の影響を大きく受けた近年でしたが、少しずつ日常が戻りはじめ、中、「仏教聖典」を少しでも多くの方と共有すべく、当協会ではそれぞれの地域で「仏教聖典ボランティア」として活動して下さる方を募集し支援しており、令和6（2024）年現在、90名の僧侶の皆さまにご協力いただいています。

「仏教聖典ボランティア」とは、「仏教聖典」を各地の宿泊施設や観光拠点となる施設に設置していただけるよう、そしてその良さを当協会に代わってPRし、仏教思想や文化をひろめてくださる僧侶の皆さまです。今回は「仏教聖典ボランティア」として、一人でも多くの皆さまへ「仏教聖典」を届ける活動をお手伝いいただいている浜島典彦師（日蓮宗総本山身延山久遠寺総務）に、どのような思いで参加して下さっているのか、お話を伺うべく、令和5（2023）年に開創750年を迎えた日蓮宗総本山身延山久遠寺を訪問させていただきました。

日本五大桜にも数えられる桜の名所としても多くの人びとを魅了しつづける風光明媚な場所であり、日蓮宗総本山身延山久遠寺のお膝元でもある門前町は代々継承されている旅館や商店などが建ち並び、訪れる人びとを温かく迎えてくれます。

**増田（以下、増）**…いつもご協力いただきありがとうございます。いつもありがとうございます。  
**浜島（以下、浜）**…こちらこそ、まずは読者の皆さまに向けて、日蓮宗は1253年に日蓮聖人、ご宗派やご本山について簡易に、身延山久遠寺単にご紹介いただけますでしょうか。日蓮宗の総本山です。分派が多く昔から門流を大事にした



ため、現在、全国に57カ寺の本山があります（うち総本山が身延山久遠寺の1カ寺で大本山が7カ寺ある）。日蓮聖人は「立正安国論」（1260年に鎌倉幕府第5代執権であった北条時頼に提出した文書…諸宗を非難し、このままの状態を放置すれば災害や天変地異、天体運行の乱れなどが起き、国内では内乱が起こり、外国からは侵略を受けて滅ぶとして、政治・宗教のあるべき姿を唱えた…この内容に激昂した浄土宗の宗徒による襲撃事件を招いた上に、禅宗を信じていた時頼からも「政治批判」と見なされて、翌年に日蓮は伊豆国に流罪となった）を

発表してからは迫害の連続で、本当にこころを落ち着けて静かに休めたのは、この身延の地だけだったのではと思います。身延山久遠寺は弟子たちの教育の場所として、14、15世紀に約100年をかけて現在のかたちになっていったとされています。

「共に生き共に栄える」ことを念頭に、価値観の違う方がたも一緒に幸せになつていこうという思いで、愛される身延山になるように精進してまいりたいと思つています。

増…なるほど。大自然の力を借りながら皆さんで助け合い、この地を守ってきた歴史が伺えますが、今後はさらに多くの方に開かれた「愛される身延山」になつていきそうですね。

浜…特に春は山内の桜も素晴らしいのですが、天気の良い日は奥の院までいくと富士山もご覧いただけますので、ぜひ奥まで行つて堪能していただくのがおすすめです。

増…季節毎の楽しみ方ができさうで素晴らしいですね！ さて、身延山久遠寺は既に多くの人びとを魅了し、浜島先生ご自身も積極的に仏教精神・文化の発信をされていらつしやいます。なぜ当協会の「仏教聖典ポランテア」にご協力いただいたのでしょうか。

浜…「仏教聖典」とそれを普及させようと活動なさっている仏



山田屋客室内に設置されている「仏教聖典」

ろがすごいと思ひまして、ぜひ私も協力させていただきたいと思つたからです。

国内外のホテルの客室で「仏教聖典」を見かけると嬉しくなり、思わず引き出しや本棚から出して手に取つてしまいます。出版の際には、必ず「仏教聖典」をテーブルの上に出して、読んだことをアピールしてから部屋を出ています（笑）。

教伝道協会さんが素晴らしいからです（笑）。現在47言語出版されているとお聞きしていますが、本当に骨がおれる作業ばかりだと拝察しますので頭が下がる思いです。ひとくちに仏教といっても難しい！ 私たちのように仏教に関わる者からすると、お経は身近な存在ではありませんが、元は日本語ではないため音写と意識とがありますから、ふだん馴染みのない方からすると短時間で正確に理解することは非常に難しいですね。それらをわかりやすいかたちにして、且つ日本のみならず全世界を相手に活動されているとこ

増…そのように当協会の活動にご理解・ご協力をいただき本当にありがたいことです。浜島先生のお力添えのお蔭で、より多くの必要とされる方がたへ「仏教聖典」が行き渡つていきます。通常は、先生のご指摘の通り、主に宿泊施設へ寄贈をさせていただいていますが、加えて教育機関への寄贈にもご尽力いただいたのは、なぜなのでしょう。か。

浜…仏教伝道協会さん、ひいてはその組織を力強く支える株式会社ミットヨさんにも言えることですが、まず、このような活動を長年つづける場合は資力が大切な要素のひとつですが、やはり、人づくり、人材育成が最

も大切だと思っています。若い方がたには、もつと海外留学などして世界から様ざまなことを学んでいただきたいと思えます。キリスト教では、ハーバード大学さんなども神学科を設置して、今後の世の中をリードしていくであろう学生の皆さんに多くの時間をかけて学ぶ機会を提供していますよね。

**増**・仰る通りです。まずは人と人との繋がり、若年層への教育が大切ですね。

**浜**・教育機関などで配布すると皆さん喜んで受け取ってくれますし、大学の卒業式などでも活用させていただいています。そして、私が特におすすめする点は、「仏教聖典」は英語が対照訳になっていて日本語と英語を同時に学べるということです（「和英対照仏教聖典」に限る）！コンパクトなサイズ感の「はじめの仏教」や「ブツダのおしえ」も手にとりやすくして良いですよ。ぜひ当山のロープウェイのりばにも設置させていただきたいです。外国人参拝客が増え、朝のお勤めにも各国の方におまじりいただくことが日常となりました。英語で仏教について

て尋ねられることも多くなり、私自身も、簡単ですが、英語でご挨拶をさせていただくことがあります。

世界中の往来が可能になり、便利でありがたい反面、お互い憎しみ合って戦争に発展してしまふなど悲しいできごとも多くなっています。「怨みを怨みでかえしてはいけない」という仏教の精神が、今こそ生きる時代だと私は信じています。そのためには、やはり若いうちから教育の現場で活用することが重要だと考えています。

**増**・本当にそうですね。今こそ、この精神が世界に伝わることを、私たちも願ってやみません。先生のご尽力もあり、特に大学への「仏教聖典」の寄贈が増えています。やはり若い世代に思いを伝えたいというお気持ち強いのでしょうか。

**浜**・仏教には、どんな人でも救わなくてはいけないという精神があると思うのです。近年は日本のどこにいても、少子高齢化、後継者不足や貧困などの問題がきかれますよね。身延山でも後継者のいない宿坊もあり、



観光案内所に設置されている「仏教聖典」他当協会刊行物



だいきくCafe店内本棚に設置されている「仏教聖典」

既に問題になっています。私たちも街と密接に連携して乗り切りたいと思っていますが、少子化の影響は著しく、なかなか難しい状況です。そのようななかでも、身延町では観光協会の佐野会長を中心に街全体があなたかく見守ってください、地域一体となつて様ざまな企画を実施させていただいています。令和4（2022）年8月には、渋谷区新国立劇場オペラパレスにおいて、身延山開創750年記念オペラ「日蓮の宇宙 曼荼羅世界」の公演を行うなど、今までにない取り組みも行っています。

**増**・地域と一体となつての取り組み、そしてオペラ公演とは斬新で素晴らしいですね。

**浜**・ありがとうございます。オペラは日蓮聖人の生涯の壮絶さと法華経広宣流布のために尽力されたことがわかりやすく描かれており、非常に好評でした。他宗派では、国籍問わずたくさんの観光客を誘致できているところもあり、私たちもぜひ見習って勉強させていただきたいと考えています。それにはまず身近なところから、地域の皆さんと一緒に盛り上げていくためにも若い世代に積極的に関わつ

ていただき「仏教聖典」をはじめとする仏教に関するツールを最大限活用させていただければと思っています。

「仏教聖典ボランティア」も様々な場所でのひろがりを感じられる活動ですが、仏教伝道協会さんでは、僧侶や寺族の方が対象にした「実践布教研究会」という歴史ある研修会を主催されていますよね（2023年度現在、51回開催…P.21掲載）。様ざまな宗派の若手が中心に集つて研修ができ、宗派を超え、体当たりで村度なしに話し合える場は他になく、かけがえのない機会だと感じています。どこの宗派も厳しい時代だと思えますので、ここはオール宗派で仏教として一丸となれるよう、仏教伝道協会さんが既成教団に喝をいれる存在になっていただきたいと願っています。

**増**・そのように仰つていただき、ありがとうございます。

「仏教聖典ボランティア」の活動については、どのように感じているのでしょうか。

**浜**・私自身が若かった頃は、もつといろんな宗派の先生がた



## 浜島典彦

はまじま てんげん

日蓮宗総本山 身延山久遠寺 総務  
昭和26(1951)年、三重県生まれ。  
現在、修性院(花見寺・東京都荒川区)住職、身延山大学名誉教授  
著書:『日蓮学の現代』(春秋社)  
『御題目と歩く』(日蓮宗新聞社)、  
『清貧の人 土光敏夫』(大法輪閣)、  
『法華経・全二八章講義』(大法輪閣)等。

増…これから「仏教聖典ポラン」が関わりあつて話し合う機会もあつたのですが、最近では宗派を超えてあつまる機会が少ないように思います。日本全体で多様性への取り組みの気運が高まっていますので、色々な宗派、業界、地域の方がたつたが、とができる貴重な機会と捉え、ぜひもつと多くの若い世代に、この活動に加わっていただきたいと思ひます。言い方はよくないかもしれませんが、このまま僧侶だけで凝り固まつて外に目を向けず、外界から刺激を受けないでいると仏教はどんどん衰退していく一方だと感じています。ですから、積極的に自分の殻を破り外へ出て世の中を知

る、これが重要です。  
「ティア」の活動に加わろうかと迷っている皆さまへのアドバイスをいただき感謝いたします。最後に浜島先生のお考えになる「仏教」の未来に必要なこととは何でしょうか。  
浜…仏教に限らずだと思ひますが、多様な価値観を認め合い、常に学ぶことを忘れずにいたいものですね。そして様々な活動が皆さまの純粋な信仰の発露になればとの思いであります。仏教を知ることによつて、ほつとする時間をつくり、こころに余裕を持つていただけたる世の中になればと願っています。

今回は、門前の皆さまと支え合い地域一丸となつて活動していただきつている浜島典彦氏にお話を伺いました。観光業を中心に明るいまし見えてきた今、「仏教聖典ポランティア」という存在が繋ぐ素晴らしいご縁を再認識すると共に新たな可能性を感じ、今何が必要なのかを改めて考える良い機会となりました。仏教伝道協会では「仏教聖典」の他に観光地でも人気の赤い冊子「はじめての仏教」なども「仏教聖典ポランティア」に参加していただきつているお寺には無料で提供しています。

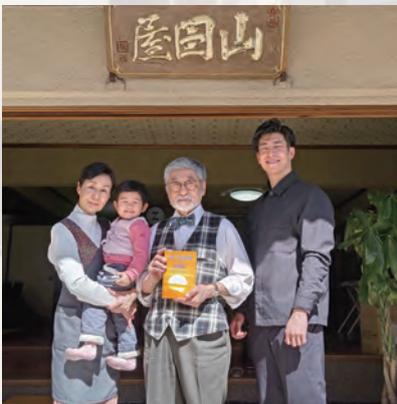
※「仏教聖典」やその他出版事業に関するお問い合わせは、仏教伝道協会公式サイトをご確認ください。  
<https://www.bdk.or.jp>

## 施設紹介

身延山門前で「仏教聖典」「はじめての仏教」「ブツダのおしえ」など当協会刊行物をご活用いただいている主な施設のご紹介



特に小冊子は観光客の皆さまにも手に取りやすいので今後もぜひ観光案内所をはじめとして門前で活用させていただきたいですね。  
身延山観光協会  
会長 佐野慈一氏(右)



身延にお越しいただいたお客さまの癒しとなれば幸いです。  
旅館 山田屋 ご一家



せっかく身延にお越しくくださったのですから仏教のエッセンスも感じていただけたらと思います。  
だいこくCafe by 甘養亭河喜  
会長 池上照美氏

1 出版事業

Publication

Activity 01 令和5 (2023) 年度「仏教聖典」頒布状況

令和2 (2020) 年、令和4 (2022) 年は新型コロナウイルスの影響を受け、「仏教聖典」の頒布活動を積極的に行うことができませんでした。令和5 (2023) 年、令和4 (2022) 年よりも薄れてきました。また、2023年9月には社会福祉法人国際視覚障害者援護協会の協力も

2023年は日本国内の宿泊施設に8,125冊、

と、「仏教聖典」の内容を短くまとめた小冊子「ブツダのおしえ」の点字版を発行し、全国の視覚障害者用の図書館・福祉施設135カ所に寄贈いたしました。

また、「和文仏教聖典」を刊行予定です。これまでの「仏教聖典」の点字版は大変厚みのある3冊セットとなっており、気軽に読むことが難しいものでした。今回発行された書籍が、視覚障害者の方がたにとって仏教の教えに触れるきっかけになればと考えています。

また、来年度は改訂版の「和文仏教聖典」を刊行予定です。これからの「仏教聖典」

聖典」を一人でも多くの方へ届けるため、国内海外を問わず活動を続けてまいります。



Activity 02

令和5 (2023) 年度当協会その他出版物のご紹介

〈2023年の「仏教聖典」頒布状況〉 1月～12月

	件数	寄贈冊数	販売冊数	
国内	ホテル(新規)	34	3,638	
	ホテル(補充)	67	4,487	
	病院(新規)		2	
	病院(補充)			
	学校(販売)	7		11,012
	学校(寄贈)	379	30,806	
	寺院(販売)			2,222
	寺院(寄贈)		150	
	一般他販売			275
	書店			2,044
	寄贈		1,486	
国内頒布数計		40,569	15,553	
海外	海外協力機関		3,920	
	ホテル	11	750	
	その他		10,101	
	海外頒布数計		14,771	
総計		55,340	15,553	
総計			70,893	

毎年発行している法話集「みちしるべ 六波羅蜜シリーズ」を、初刊『布施の施のこころ』、第二巻『持戒—よりよく生きる—』、第三巻『忍辱—真実を受け入れる—』に続き、『精進—不断の努力—』を6月に発刊しました。田中ケネス氏(浄土真宗本願寺派)、鈴木隆泰氏(日蓮宗)、細川晋輔氏(臨済宗妙心寺派)の3名に執筆

いただいた本作も、様々な宗派の観点から「一日一訓カレンダール」の文言をやさしく説き明かしています。

また令和元(2019)年に刊行したユーモラスなイラストが特徴的な『元気になる! 日めくりブツダせいかつ』の第二弾として、子どもから大人まで読めば心が軽くなるブツダの教えをセレクトした『心が軽くなる! 日めくりブツダせ

いかつ2』(著:宮下真・絵:香川尚子)を10月に発刊しました。どちらも当協会のオンラインショップよりお問い合わせいただけます。

■「英訳大蔵経」出版状況  
「大蔵経」の翻訳事業は、第一期分139典籍の約77%の翻訳を終え、令和9(2027)年の翻訳完了を目指し着実に歩みを進め

ています。

令和5（2023）年度は、『中阿含経(3)』（全4巻刊行）、『国清百録』、『金剛針論・華嚴一乗教義分齊章・般若心経秘鍵』の計3冊を英訳大蔵経シリーズとして刊行しました。

『中阿含経(3)』には「大品頼吒和羅経」から「多界経」までの50経典を収録しています。『国清百録』は章安灌頂が天台智顛の遺徳を顕彰するため、智顛にか

かわりのある書簡等104編を集め、天台山国清寺の名を冠した文書集です。『金剛針論・華嚴一乗教義分齊章・般若心経秘鍵』は、仏教の立場からバラモン教の権威とカースト制度

を批判した『金剛針論』、法蔵が撰述した『華嚴経』の概説書である、10のトピックを論じた『華嚴一乗教義分齊章』、空海が密教の立場から『般若心経』を注釈した『般若心経秘鍵』

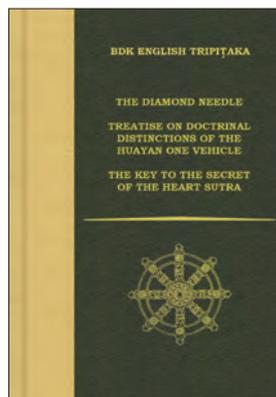
の3典籍を収録しています。



精進（しょうじん）



心が軽くなる！日めくり Buddha せいかつ2



英訳大蔵経『金剛針論・華嚴一乗教義分齊章・般若心経秘鍵』



BDK「英訳大蔵経」

### Activity 03

## 「輝け！お寺の掲示板大賞」

## 2023」開催

第6回目となる「輝け！お寺の掲示板大賞2023」を開催しました。今回は4,107作品が集まり、これまでで最も短い応募期間であったにも関わらず過去最高の投稿数となりました。

大賞に選ばれたのは、東の言葉です。

京都・妙圓寺の作品「ことばだけ立派な者は敵である」。これは、『シンガール経』の中に存在する釈尊

同時に多くのトラブルも発生しています。言葉は他者を傷つける可能性があり、「ことばだけ立派な者とは、まさに自分自身の事ではないか？」と、自らに問いかけてほしいという願いが込められた本作品が大賞に選ばれました。

令和6（2024）年も7月1日から第7回目の「お

寺の掲示板大賞」を開催する予定です。



お寺の掲示板大賞ホームページ



仏教伝道協会大賞（妙圓寺）

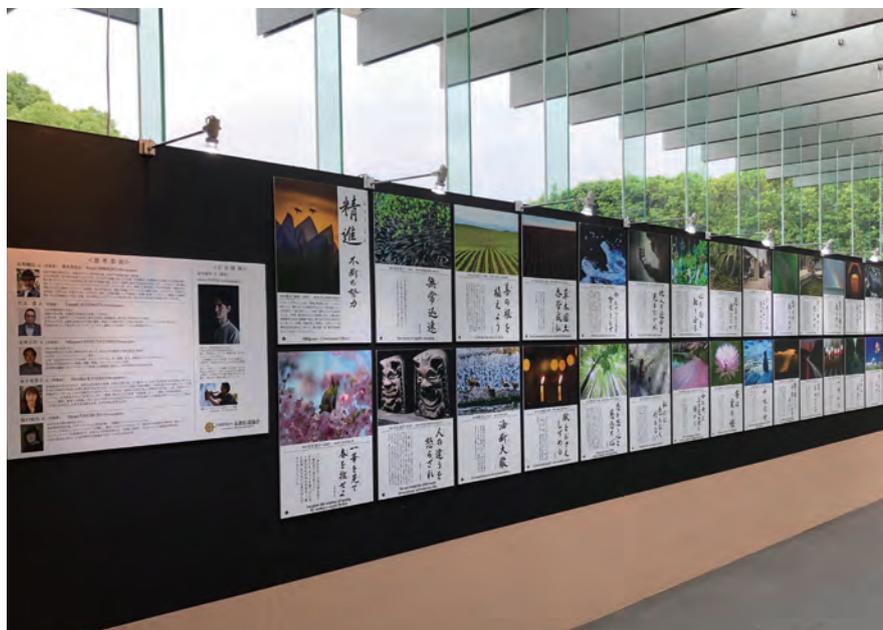
Activity **04**

# 第10回「一日一訓カレンダー」 フォトコンテスト」開催

## 第9回「一日一訓カレンダー」

## フォトコンテスト入選作品写真展」開催

(於 築地本願寺・平等院・瑞巖寺)



平等院ミュージアム



瑞巖寺本堂



カレンダーフォトコンテスト選考委員会

■第10回「一日一訓カレンダー」  
フォトコンテスト」

平成26(2014)年より毎年開催している当コンテストは、節目の第10回目を迎え、応募総数755件2,574枚の作品が集ま

■第9回「一日一訓カレンダー」  
フォトコンテスト入選  
写真写真展」

「第9回一日一訓カレンダー」  
フォトコンテスト」

りました。  
令和5(2023)年9月、カレンダーフォトコンテスト選考委員会を開催し、表紙を含む32枚を選定、入選者に賞状と賞金を贈呈しました。  
なお、入選作品は令和7(2025)年用カレンダーに掲載されます。また当協会公式サイト上でも作品をご覧いただけます。

の入選作品の写真展を2023年4月11日から6月4日まで築地本願寺本堂、2023年6月7日から8月27日まで平等院ミュージアム、2023年9月1日から10月23日まで瑞巖寺本堂にて開催しました。  
来場者数は3会場で累計49万3,688人と、多くの方がたに写真を通して仏教に気軽に親しんでいただく機会となりました。

## 2 助成・表彰事業

Support / Commendation

### 奨学金事業報告

仏教伝道協会では「外国人留学生奨学金」および「日本人留学生奨学金」（通

称：BDK奨学金）を設置し、仏教研究を志す皆さまを支援する奨学金事業を展開しています。

## 「日本人留学生奨学金」 制度のご紹介

「日本人留学生奨学金」は、日本から海外へ渡り幅広い視野を養い、将来の仏教学術振興に貢献しうる日本人の若手研究者を育成したいという願いから、平成24（2012）年に設立されました。

令和4（2022）年度は、日本から海外へ渡り幅広い視野を養い、将来の仏教学術振興に貢献しうる日本人の若手研究者を育成したいという願いから、平成24（2012）年に設立されました。

### 第10回 令和5（2023）年 受給者

#### ◆ 中山 慧輝（なかやま けいき）

■ 受給期間：2年目（3年間）

■ 所 属：ドイツ・ライプツィヒ大学

■ 研究内容：インド学・中央アジア学研究所  
『瑜伽師地論』「撰異門分」研究  
— 瑜伽行派の経句解釈 —

■ 指導教授：ヨーヴィタ・クラマー教授

現在受給中のため期間終了時にご紹介予定です

### 第11回 令和6（2024）年 受給者

#### ◆ 安川 真由（やすかわ まゆ）

■ 受給期間：1年間

■ 所 属：オーストリア・ウィーン大学

■ 研究内容：南アジア・チベット仏教研究所  
曇無讖訳『大般涅槃経』における  
増広部分の研究

■ 指導教授：クリストファー・V・ジョーンズ助教授

現在受給中のため期間終了時にご紹介予定です

## 「外国人留学生奨学金」制度のご紹介

外国人留学生奨学金は、海外から来日し仏教について研究をする外国籍の研究者または学生に対して、それぞれが自国に戻り、日本で学んだ仏教精神、文化等を学問を通じ、弘く世界に伝えていただきたいとの願いから平成3 (1991) 年に外国人留学生奨学金が設立されました。

現在は世界各国から第33回までの奨学生を採用。今回は、令和5 (2023) 年度内に受給期間を終えた奨学生2名をご紹介します。

### 第30回 令和2 (2020) 年 「外国人留学生奨学金」受給者のご紹介

#### 奨学生への質問

- 1 仏教伝道協会の奨学金制度への応募のきっかけ
- 2 受給して最も良かったと思うこと、今後の展望
- 3 日本の生活で一番好きなところ (または驚いたところ)

#### ◇ Jonathan Edward Thumas (スマス・ジョナサン・エドワード)

- 受給期間：令和4 (2022) 年9月～令和5 (2023) 年8月 (12カ月)
- 所属機関名：東京大学史料編纂所
- 指導教授名：菊地大樹教授
- 研究内容：院政期の「別所」の成立と中世仏教の展開

1 私の研究内容は、先行研究がほとんど存在せず、これらの資料に関する専門家は日本の大学にのみいらっしゃいました。私が必要とする全ての一次資料 (特に写本と考古学の両方) も日

本の研究機関にのみ保管されていたため、令和元 (2019) 年ごろ東京大学史料編纂所の菊地大樹先生のもとで学ぶ必要があるとの結論に至りました。民衆仏教と山岳信仰に関する菊地先生の研究は、私自身の研究と強い関係性があり、史料編纂所所蔵の史料群には、私の論文に必要な重要な史料が多く含まれていました。そのような経緯があり、私のハーバード大学でのアドバイザーである阿部龍一先生がBDK Fellowshipに応募するように勧めていただきました。BDK Fellowshipは大変有名な奨学金であったため、当初は少し不安な気持ちでしたが、同時に、将来の仏教学の発展に関わるひ



拓本作業をするスマス氏

とりとして、日本の先生がたの下で直接学ぶことができるといふ機会に深い興味を持ちました。また、仏教伝道協会 (BDK) は家族を持つ奨学生に対してもしっかりサポートを提供していることも知り、家族がいる私にとっては重要なポイントでもありました。最終的に採用されたという通知を受け取ったときは大変驚きましたが、とても嬉しかったです。

2 すぐに思い浮かぶのは、BDKとスタッフの方がたから受けたサポートです。日本滞在中の様ざまな場面で、現地調査をする機会があり、私は何度か菊地先生と一緒に高野山へ行き、拓



本の作り方を学びました。また、京都の花背にも定期的に行き、地元住民の方がたと一緒に遺跡や史料を研究し、地域のイベントで宗教学史に関する自分の研究を発表することもありました。BDK Fellowshipのお蔭で、貴重な機会を最大限に活かして、研究手法や専門家とのネットワークを広げることができました。BDKは、パンデミックにより2年間も遅れた私の入国手続きにも柔軟に対応してくれました。BDKの継続的な支援と親切さのおかげで、私と家族は2022年

9月に無事日本に入国することができました。BDKのスタッフは、特に素晴らしい、いつも快く私を助けてくれました。BDKの支援により、私は博士論文を完成させることができました。今回の滞在によって研究を通じて学んだ多くのこととを出版し、そして今後自らが教える立場となるための基本を学ぶことができ、将来のキャリアに良い影響を与えてくれたと確信しています。

**3** 日本、特に東京での生活は、忘れることができないほど、素晴らしい経験でした。文京区の湯島のアパートから大学のオフィスまでの毎朝の散歩から、時には週に一度の新幹線に乗って京都市花背の研究現場まで、いつでも研究に集めることができる環境に身を置くことができました。また、東京での生活は非常に便利で驚きました。滞在期間中には家族と日本各地への旅行も楽しみました。研究の充実以外の日常生活で本当に良かったと感じていることは、日々の経験を家族と共有できたことです。私の娘は、東京の地元の保育園に通うことで日本語を学ぶことができ、私たちが米国に戻ってからも日本語を使用し、学習し続けています。BDK Fellowshipは、私と家族に日本とのつながりをもたら

第32回 令和5(2023)年「外国人留学生奨学金」受給者のご紹介

◆朴熙彦(パク・ヒーオン)

■ 受給期間: 令和5(2023)年4月、令和6(2024)年3月(12カ月)

■ 所属機関名: 筑波大学

■ 指導教授名: 吉水千鶴子教授

■ 研究内容: アティシヤの密教教義研究―波羅蜜乘の思想、修行、倫理との関係を中心に―

でき、私たちが米国に戻ってきたこと、経験を活かして更に理解を深めていくことを楽しみにしています。

たと感じていることは、

**1** 私は、当初、韓国の国費留学生として来日し、筑波大学大学院で研究を始めました。しかし、国費奨学金は博士課程3年目までという制限があり、私はこの期間内に博士論文を完成させることができず、経済的な面で不安がありました。

そのような時に、指導教員の吉水千鶴子先生と仏教伝道協会の元奨学生でもある崔境真先生の助言をいただき、BDK Fellowshipの存在を知り、応募させていただきました。



指導教授 吉水教授(右)とパク氏(左)

**2** 受給させていただき最も良かったことは、経済的な心配をすることなく、研究に専念できたことです。奨学金のお蔭で、1年間研究のみに没頭することができ、少しでも良い論文を完



吉水教授を囲んで (パク氏：前列左から4番目)

成させることができたと思  
います。それだけではな  
く、仏教伝道協会が主催す  
る奨学生交流会を通じて、

仏教のさまざまな分野を研究  
している方がたと交流でき  
たことも貴重な経験だった  
と思います。将来の展望と  
しては、私はこれまでイン  
ド、チベットの仏教を中心  
に研究を進めてきました  
が、今後は日本などの東ア  
ジアの仏教に研究範囲を広  
げ、世界各国の仏教文化の  
関連性と独自性を比較研究  
していきたいと思っていま  
す。

3 私にとって日本での生活  
で一番印象に残っているの  
は、多くの方の優しさでは  
ないかと思えます。留学生  
として来日した直後は、研  
究に必要なサンスクリット  
語やチベット語はおろか、  
日本語すら理解できず、多  
くの困難に直面しました。  
大変なことがあるたびに忍  
耐強く指導してくださった  
先生がた、惜しみなく助け  
てくれた先輩や友人のお蔭  
で無事に博士課程を終え  
ることができました。指

導教員である吉水先生をは  
じめ、多くの先生がた、先  
輩、友人、そして仏教伝道  
協会に深い感謝の気持ちを  
伝えたいと思います。

第33回 令和6 (2024) 年

「外国人留学生奨学金」受給者のご紹介 (申込順)

◇ Jackson Cole Macor

(メイコー・ジャクソン・コール)

■ 研究予定内容：吉蔵撰『中観論疏』と

東アジアにおける三論学派

■ 所属予定機関：駒澤大学

■ 指導予定教授：奥野光賢教授

◇ 朴聖逸 (パク・ソンイル)

■ 研究予定内容：鎌倉時代から江戸時代までの  
仏教の十戒研究

■ 所属予定機関：東京大学

■ 指導予定教授：蓑輪顕量教授

◇ 高明元 (コウ・ミンゲン)

※2023年度から継続

■ 研究内容：「習気/熏習」の概念と

「種子」との関係について

■ 所属機関：早稲田大学

■ 指導教授：山部能宜教授

# 第57回「仏教伝道文化賞」贈呈式開催 (於 仏教伝道センタービル) 2023年10月19日



第57回「仏教伝道文化賞」受賞関係者



今枝由郎氏



藤田一照氏



藤田氏への表彰

令和5(2023)年10月19日、仏教伝道センタービル8階にて第57回仏教伝道文化賞贈呈式ならびに祝賀披露宴を執り行いました。

仏教伝道文化賞受賞の今

枝由郎(いまえだよしろう)氏は、チベット・ブータン歴史文献学の分野で多大な業績を挙げ、国内外で最先端の仏教研究に従事。「この道一筋で良かったと思えるのは、一生関わってきたブツダという一人の間が残された言葉を読めば読むほど偉い人だと思えること」と60年にわたる活動を振り返りました。

沼田奨励賞受賞の藤田一

照(ふじたいつしろう)氏は、長年アメリカで坐禅を指導し、帰国後も国籍を問わず多くの人に坐禅を広める活動を継続。「坐禅を体験して、学業より修行をしたいのだと気づき僧侶の道に入った。古希を迎えつつくりしようと思っていたが、奨励賞をいただいたので、あと10年くらいは愉快に参究を続けていきたい」と語りました。

## 令和5 (2023) 年度「助成金事業」報告

仏教伝道協会では、当協会の公益事業目的に賛同し、国内外にて積極的な活動を行っている個人または団体を支援するため、活動助成金を交付しています。

令和5 (2023) 年度は、20件の団体または個人から申請があり、公正な審査の結果、14件の団体への助成金交付を決定しました。当協会の「助成金制度」についての詳細は、公式サイトをご確認ください。

<https://www.bdk.or.jp/bdk/jyosei/jyoseikin.html>

### ■ A. 沼田仏教講座新規開設及び運営維持助成金

団体名	申請事業内容
University of California, Berkeley	沼田センター設立積立金

### ■ B. 海外協力機関活動支援助成金

団体名	申請事業内容
BDK Asia	仏教聖典の頒布活動
BDK Taiwan	仏教伝道協会の出版物の頒布

### ■ C. 団体支援助成金

団体名	申請事業内容
日本印度学仏教学会	情報化対応を介した国際的学術交流及び文化貢献の促進事業
特定非営利活動法人鎌倉てらこや	鎌倉てらこやー大学・寺社・行政・市民ボランティアの協働による地域コミュニティ再興事業ー
公益財団法人中村元東方研究所	公益財団法人として研究調査事業・研究助成事業・顕彰事業・普及事業

### ■ D. 事業支援助成金 - D-1. 仏教精神・文化普及活動及び人道支援活動

団体名	申請事業内容
公益財団法人全国教誨師連盟	教誨師研修事業
H1 法話グランプリ実行委員会	H1 法話グランプリ2023
全国日蓮宗青年会	東京レインボープライド2023参加による仏教と性的マイノリティーの相互理解促進事業

### ■ D. 事業支援助成金 - D-2. 仏教学術振興活動

団体名	申請事業内容
龍谷大学 龍谷ミュージアム	2023年度 春季特別展「真宗と聖徳太子」
公益財団法人 日独文化研究所	日独の三研究機関で開催するワークショップ「仏教とキリスト教の〈自然〉概念」
Verein für Komparative Philosophie und Interdisziplinäre Bildung /KoPhil (比較哲学・学際教育学会/KoPhil)	KoPhil Lecture Series: Buddhist Philosophy in Dialogue with Contemporary Sciences (現代科学との対話における仏教哲学)
Verein für Komparative Philosophie und Interdisziplinäre Bildung /KoPhil (比較哲学・学際教育学会/KoPhil)	KoPhil Project B: The Comparative Philosophy of the Buddhism (比較仏教哲学)
Numata Center for Buddhist Studies (ハンブルク大学沼田仏教学センター)	ハンブルク大学沼田仏教学センターにおける仏教講座運営

### 3 啓蒙活動・支援事業・仏教講座の開催

Enlightenment / Support / Buddhism course

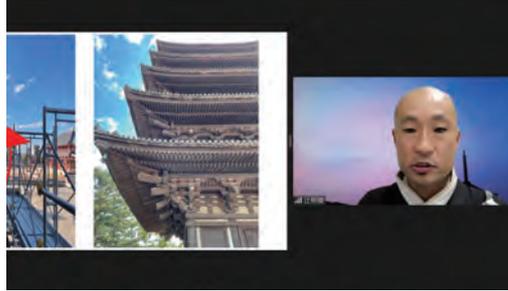
## 01 Activity 「週刊法話ステーション」 オンライン法話会

毎週ライブ配信中

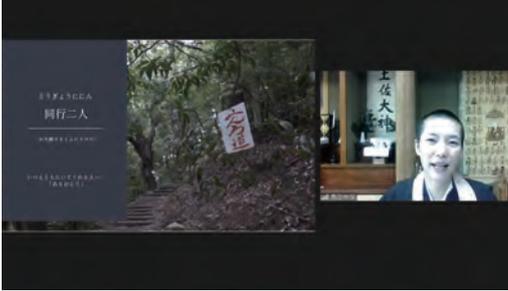
令和3（2021）年1月からスタートしたオンライン法話会「週刊法話ステーション」。毎月テーマに合わせた法話を1週間に一人、様々な宗派の僧侶にお話しいただいています。令和5（2023）年3月には通算150回目の放送を超え、水曜日の夕方のライブ配信を楽しみにしてください。また、法話は当協会のYouTubeチャンネルに順次投稿しており、多くのアクセスをいただいています。視聴者からは、「今回初めてオンタイムで拝見しました。いつもSNSでしか拝見していない先生の生のお声とメッセージが、文字だけよりも直接的に伝わってきて大変印象的でした。法話の時間もちょうどよく聞きやすかったです」「また続編をぜひ。いつもありがとうございます」とうございます。「今日のお話から人は完璧ではないから、仏様に守っていただきたいのだというメッセージが伝わってきました。とても良い時間をすごせました。など、様々な感想をいただいています。敷居が高いイメージの「法話」をより多くの方へ、もっと

今後の出演者やスケジュールは当協会公式サイトからご確認ください。

と身近に感じてもらえるよう、令和6（2024）年度も引き続き配信予定です。



2023年11月 辻 明俊氏



2023年8月 島田希保氏

視聴者からは、「今回初めてオンタイムで拝見しました。いつもSNSでしか拝見していない先生の生のお声とメッセージが、文字だけよりも直接的に伝わってきて大変印象的でした。法話の時間もちょうどよく聞きやすかったです」「また続編をぜひ。いつもありがとうございます」とうございます。「今日のお話から人は完璧ではないから、仏様に守っていただきたいのだというメッセージが伝わってきました。とても良い時間をすごせました。など、様々な感想をいただいています。敷居が高いイメージの「法話」をより多くの方へ、もっと

#### 2023年度月間テーマ・出演講師（敬称略）

4月 「つながり」	長谷雄蓮華	10月 「歴史」	桜庭 尚吾
	柴谷 宗叔		森 圭介
	重枝 真紹		小山 興圓
	上村 雄法		関本 和弘
5月 「遊び」	武田 慶之	11月 「科学技術」	谷治 暁雲
	本多 清寛		泰丘 良玄
	岩山 宗應		小林 正尚
	向井 真人		大澤 尊光
6月 「医療」	難波 教行	12月 「笑い」	辻 明俊
	和田 弘雅		増田 俊康
	金田 諦晃		佐山 拓郎
	高橋 了		安達 瑞樹
7月 「グローバル」	南條 了瑛	1月 「夢」	宮本 覚道
	望月 宏済		梶浦 邦康
	藤尾 聡允		吉田 武士
	禿 定心		若林 唯人
8月 「ローカル」	横溝 常之	2月 「感情」	赤井 智頭
	攝受 弘宣		金子 礼灑
	島田 希保		小谷 剛璋
	岡本 真宥		中谷 潤心
9月 「運動」	福岡 智哉	3月 「布施」	野田 元雄
	諏訪 邦充		塚田 博教
	宮島 俊京		川野 真広
	河又 宗道		

Activity 02 FM大阪  
「笑い飯哲夫のサタデーナイト仏教」 シーズン6に突入



哲夫氏 (左)、ゲスト横山剣氏 (右)



哲夫氏 (左)、ゲスト佐々木閑氏 (右)



東大寺での公開収録

毎週土曜日深夜24時15分〜30分まで放送しているラジオ番組「仏教伝道協会 Presents 笑い飯哲夫のサタデーナイト仏教」は令和5(2023)年にシーズン6を迎えました。月替わりで著名人と僧侶をゲストに迎え、笑い飯哲夫氏とのトークを通じてリスナーの皆さまに仏教を身近に感じていただける番組です。リ

スナー層は年々拡大し、SNS上で「#サタデーナイト仏教」というハッシュタグを付けた投稿が見受けられるようになりました。2023年度は番組スタート以来、初めてキリスト教の牧師をゲストに迎え、新たな視点から仏教を考えるきっかけとなりました。

■奈良・東大寺の大仏殿前鏡池特設舞台で番組の公開収録を開催!(2023年10月21日)  
番組のリスナーと直接交流する場を設けるため、4年ぶり2回目の公開収録を、笑い飯哲夫氏の故郷である奈良・東大寺の大仏殿前鏡池を会場に行い、多数の応募者から抽選で選ばれた約40名のリスナーが集合

しました。  
ゲストには奈良県出身の八嶋智人氏(俳優)、橋村公英氏(華厳宗管長・東大寺別当)をお迎えし、東大寺についてのお話のほか、リスナーから寄せられた悩みに答えていただきました。公開収録の様子は11月19日(日)19時から1時間番組として放送し、たくさんの方に聴いていただきました。

2023年度出演ゲスト (敬称略)

4月	吉村 昇洋 (曹洞宗八屋山普門寺副住職)	10月	柘野 俊明 (曹洞宗徳雄山建功寺住職)
5月	サンキュータツオ (タレント、日本語学者、大学教員)	11月	Aマッソ (お笑いコンビ)
6月	佐々木 閑 (花園大学特別教授)	12月	奥田 知志 (東八幡キリスト教会牧師)
7月	友近 (タレント)	1月	サバンナ八木真澄 (タレント)
8月	横田 南嶺 (臨済宗円覚寺派管長)	2月	神居 文彰 (平等院住職)
9月	横山 剣 (ミュージシャン)	3月	みうらじゅん (イラストレーター)

# Activity 03

## 「仏教伝道協会2023花まつり」開催

(於 仏教伝道センタービル) 2023年3月24日～4月10日



お釈迦様の誕生日をお祝いする「花まつり」をご縁として仏教に親しんでいたため、(公財)全日本仏教会主催「第6回花まつりデザイン募集」の入選作品の原画14点を、仏教伝道センタービル1階ロビーに展示しました。

期間中は、(公社)全日

本仏教婦人連盟様より「花の種」、大和証券株式会社様より「サクマドロップス」をご提供いただき来場者へ配布。仏教伝道センタービル内にある中国料理三田菩提樹では「花まつり特製 精進カレー」を特別メニューとして提供し、それぞれ



られた入選作品と併せてお楽しみいただきました。

Activity 04

年間開催報告 「仏教聖典を経営に活かす会・生活に活かす会」



松本智量氏



千葉公慈氏



名取芳彦氏



一楽眞氏



合同研修会 千葉氏のご法話

■**仏教聖典を経営に活かす会**  
仏教精神を学び、事業経営に活かしていただくための月例講座です。一楽眞氏（大谷大学学長）、千葉公慈氏（東北福祉大学学長）を招き、月1回（第4金曜日18時・全10回）開催。講義後は先生を囲み、懇親会を開催しました。



合同研修会 トロッコ列車にて

■**仏教聖典を生活に活かす会**  
仏教精神を日常生活に活かしていただくための月例の勉強会です。名取芳彦氏（真言宗豊山派 密蔵院住職）、松本智量氏（浄土真

宗本願寺派 延立寺前住職）を招き、月1回（第4火曜日13時半・全10回）開催。講義後は先生を囲み、茶話会を開催しました。

■経営・生活合同研修会

(日帰りバスツアー)

2023年4月17日

「小湊鐵道トロッコ列車で行く養老溪谷の旅」宝林寺を訪ねて」と題し、仏教聖典を経営に活かす会



合同研修会 粟又の滝にて

講師の千葉公慈先生のご自

坊である宝林寺（千葉県市

原市）を訪ねました。27名

が参加し、養老溪谷の自然

に触れ、坐禅を体験するな

ど、充実した研修会となり

ました。

05 Activity

2021年

「沼田智秀仏教書籍優秀賞」  
受賞者記念講演 開催

(於 東京大学) 2023年4月8日

「2021年度沼田智秀  
仏教書籍優秀賞」を受賞  
したThe Buddhist Self:  
On Thāgatararba  
and Ātmanの著者クリ  
ストファー・V. ジョーンズ  
(Christopher V. Jones)

博士（講演時：ケンブリッ  
ジ大学 講師、現ウイーン  
大学助教授）をお招きし、  
東京大学主催、仏教伝道  
協会後援のもと、令和5  
(2023)年4月8日、  
受賞者記念講演会を開催し  
ました。

The Buddhist Self: On  
Thāgatararba and  
Ātmanは、仏教における  
永遠不変な我 (Ātman)  
は存在しないという主張を  
踏まえた上で、衆生の中に  
存在する永続的な性質とし  
ての如来蔵（または仏性）  
について検討した研究書で

あり、本賞外部選定委員会  
(カリフォルニア大学バー  
クレー校沼田仏教学セン  
ター) から「驚くべき成  
果」、「傑作」と称賛さ  
れ、高い評価を得ました。

本講演会では特に仏性に關  
する諸経典の記述に注目  
し、それらの記述とĀtman  
の關係について発表をいた  
だきました。



沼田仏教書籍優秀賞来日講演 C.V. Jones氏 講演の様子(東京大学)

Activity 06

「野生司香雪展」開催

(於北野カルチュラルセンター)

2023年5月12日～5月21日



北野カルチュラルセンター（長野県長野市）において「野生司香雪展」を長野市仏教会と共催で開催しました。

インド・サルナート初転法輪寺に納められた釈尊伝壁画の下絵（曹洞宗大本山永平寺所蔵）、「釈尊絵伝」原画7点（仏教伝道協会所蔵）、その他、野生司画伯が長野県で手掛けた作品を展示し、1,600名



以上のご来場をいただきました。

また、オープニングイベントとして、5月13日、同会場にて、神居文彰氏（平等院住職）による記念講演を開催しました。

講演の様子は仏教伝道協会公式YouTubeチャンネルをご覧ください。



記念講演



来場者に配布した仏教聖典と絵葉書



オープニングセレモニー出席者（永平寺南澤貫主祝下を中心に）

# Activity 07 「先学に聞く」公開

2023年5月

令和4（2022）年度からスタートした仏教者（学者、僧侶）へのインタビュー企画「先学に聞く」では、ご自身が仏教徒としての伝えたい思い、大切にしている言葉についてエピソードと共に紹介していただき、その人となりに一步踏み込んだお話を伺いました。2022年度公開の3名に加えて、さらに3名の方がたの記事と

## 2023年度公開（敬称略）

- 第4回 木村清孝  
（東京大学名誉教授）
- 第5回 吉田宏哲  
（大正大学名誉教授）
- 第6回 北島典生  
（龍谷大学名誉教授）



お遍路体験

51回目の実践布教研究会は、真言宗善通寺派総本山善通寺（香川県）にて開催しました。初めての四国での開催でしたが、宗派を超えて僧侶・寺族ら34名が参加し、「弘法大師の仏道くお遍路に学ぶ」をテーマに研鑽を深め

ました。開講式では菅智潤氏（善通寺法主猊下）より励ましのお言葉を頂戴し、中嶋孝謙氏を先達として、四国八十八ヶ所霊場第71番札所から第77番札所までを巡拝する七ヶ所参りを体験。安藤誠啓氏の解説に

よる善通寺諸堂の拝観や秋山寛淳氏の指導による阿字観の実践などに加え、分科会では「障がい者への布教伝道」をテーマに討議し、充実した研究会となりました。

# Activity 08 第51回 「実践布教研究会」開催

（於 真言宗善通寺派総本山善通寺）

2023年6月28日～30日





阿字観体験



菅下お言葉



分科会



諸堂拝観の様子



Activity 09

書道パフォーマンス  
および紙芝居会開催

(於平等院) 2023年8月4日・5日

毎年、平等院(京都府宇治市)で開催している「一日一訓カレンダーフォトコンテスト入選作写真展」の期間中に、書家の鈴木猛利氏による書道パフォーマンスを実施しています。午前10時から午後5時まで。その後、好きな漢字一字をうちに揮毫してもらうサイン会も開催しました。



また前日には、宇治市内の幼稚園に通う子どもたちを招待し、紙芝居作家・実演家の本多ちかこ氏による紙芝居会を開催。オリジナル紙芝居『うーちゃんさーちゃんぎーちゃん』、『サルの王さまと魔物』を披露

し、楽しいひと時となりました。

講演の様子は仏教伝道協会 公式YouTubeチャンネルをご覧ください。

# Activity 10 「仏教を英語で学ぶ会2023」

## 年間開催報告 (於 仏教伝道センタービル)

### 2023年4月～12月：全9回

平成23(2011)年に始まり、これまで多くの方がたに受講いただいた「仏教を初歩英語で学ぶ会」をリニューアルし、「仏教を英語で学ぶ会2023」として開催しました。これまでとの大きな違いは、パート1から3までパート毎に異なるテーマを設け、3名の講師にご担当いただいたことです。

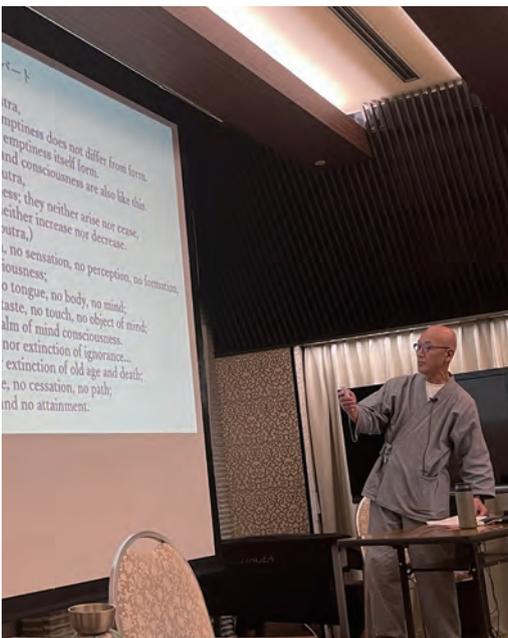
平成23(2011)年に始まり、これまで多くの方がたに受講いただいた「仏教を初歩英語で学ぶ会」をリニューアルし、「仏教を英語で学ぶ会2023」として開催しました。これまでとの大きな違いは、パート1から3までパート毎に異なるテーマを設け、3名の講師にご担当いただいたことです。

今後引き続き仏教を英語で学ぶことの楽しさをお届けしていきたいと考えています。

最新情報は当協会公式サイト・SNSをご確認ください。

パート1では、大來尚順氏(浄土真宗本願寺派超勝寺住職・翻訳家)に「英語で学ぶブツダの教え」をテーマに、仏教の基礎知識について英語を交えながら解説いただきました。パート2ではリサ・グランバック氏(龍谷大学講師)に「英語で学ぶ日本仏教」をテーマに、大乗仏教の始まりから日本仏教における浄土思想及び禅思想について

会場・オンライン合わせて、パート1には110名、2には122名、3には180名のお申し込みがあり、これまで以上に多数



仏教を英語で学ぶ会2023 PART3 藤田氏

Activity 11

「仏教ヨガ講座」 年間開催報告

難易度の高いポーズも瞑想も  
上級者も初級者も一緒に楽しめる人気講座

高野山真言宗僧侶であり、月間のべ約1,000名にヨガ指導を行うMOMO氏による「仏教ヨガ講座」は3年目を迎えました。ヨガの前には10分程度の法話の時間があり、仏教に馴染みがない方にもわかりやすいお話をしています。講座参加者のリピート率が高く、LINEの特典利用率も当協会の講座の中ではトップクラスを誇る人気講座です。



「仏教ヨガ講座」会場の様子（オンライン同時配信）

「特別坐禅会」開催

（於 曹洞宗大本山總持寺） 2023年6月18日

平成28（2016）年からスタートした「特別坐禅会」は、曹洞宗大本山總持寺を会場に、ヨガと坐禅と法話、そして精進料理を体験で

きるイベントです。6回目の開催となった本会では、日本ヨガ界の第一人者である綿本彰氏をヨガ講師としてお招きし、宇野全智氏（曹洞宗総合

研究センター常任研究員）より法話をいただきました。瑞応殿で行うヨガと法話、花和浩明氏（總持寺参禅室室長）による總持寺の歴史の

お話、衆寮（坐禅堂）で行う坐禅や、五観の偈を唱えた後の精進料理（希望者のみ）など盛り沢山の内容。約90名の参加者はヨガ愛好者が多く、普段仏教には馴染みが薄い方も多いのですが、半日かけてじっくりと

お話し、衆寮（坐禅堂）で行う坐禅や、五観の偈を唱えた後の精進料理（希望者のみ）など盛り沢山の内容。約90名の参加者はヨガ愛好者が多く、普段仏教には馴染みが薄い方も多いのですが、半日かけてじっくりと

今年度の開催についての最新情報は当協会公式サイト・SNSをご確認ください。



精進料理体験



坐禅体験

# Activity 12

## 「こころを豊かにする精進料理教室」 食を通じて仏教を学ぶ」開催



春の回：笑顔で挨拶する境田氏(左)、浅尾氏(右)



夏の回：飯沼氏による食前の椅子坐禅指導



秋の回：澤田氏による「精進料理」についてのお話



冬の回：前菜を前に笑顔の緑川氏

長引いたコロナ禍で開催ができずにいた「食」に関する講座を、約3年ぶりに全4回開催。精進料理の新たな可能性がひろがる機会となりました。

精進料理に精通する僧侶4名を季節ごとに、お招きし、境田剛樹氏(中国料理三田菩提樹料理長・東京都港区)と共同で、旬の食材を活かした料理教室を開催しました。

前半は、僧侶より「精進料理とは」のお話をいただいたあと、僧侶考案の精進料理レシピ3〜5品について、境田氏による調理の実演を見学しつつ、できたてを試食しながら学びました。後半は、僧侶より食事をいただくにあたっての心構えについてお話をいただき、椅子坐禅や瞑想などで心を調えたあとは、前半で習ったレシピにプロのアレンジを加えた創作精進料理コースをいただきました。20〜80代まで幅広いご参加いただき、精進料理を初めて体験する方も多く、皆さん興味津々でメモをとったり、先生がたに質問したり、参加者同士で話し合ったり、楽しく学ぶ姿が印象的でした。境田氏による創作コース料理も大好評で「こんなに華やかなお料理の全てが動物性の食材を一切使っていない料理とは思えない!」と驚きながらも、皆さん美味しく完食されていました。

P.32では、今回学んだレシピの一部をご紹介しますので、ぜひご自宅でもお試しを!

今年度の開催についての最新情報は当協会公式サイト・SNSをご確認ください。

参加いただき、精進料理を



2024年3月9日

浅尾 理昌 (真宗高田派常國寺衆徒)

春

◆紹介レシピ/桜豆腐、竹の子としめじの炒め物、菜の花とゆばのお浸し、いちごの豆乳寒天(抹茶ソース)、黒米おはぎ(試食:竹の子としめじの炒め物)



◆創作精進料理コース/春の訪れ前菜3種盛り合わせ(桜豆腐、菜の花とゆばのお浸し、クリーミー苺ソースの野菜たっぷり揚げワンタン) 紅靴ソースの精進角煮ミルフィーユ、高菜と精進ミートのスープヌードル仕立て、春のデザート2種盛り合わせ(抹茶ソースでいただくいちごの豆乳寒天、林檎ボートのフルーティおはぎ梅香るソースかけ)

2023年6月3日

飯沼 康祐 (天台宗福昌寺副住職)

夏

◆紹介レシピ/トマトとバジルの粥、カキフライもどき、丸ごとブロッコリーのグリル(試食:トマトとバジルの粥)



◆創作精進料理コース/彩り前菜3種盛り合わせ(丸ごとブロッコリーのグリル、たぐりゆばのキャロットソース仕立て、甘辛ソースの田うなぎ風)、まるでカキフライ 菩提樹特製 精進タルタルソース添え、豆腐ヌードル担々麺、デザート2種盛り合わせ(豆乳杏仁豆腐 アプリコットソース添え、クワイの羊羹)

2023年9月9日

澤田 珠音 (臨済宗国泰寺派辰口寺住職)

秋

◆紹介レシピ/きのこの旨味だし、飛龍頭、煎り酒(試食:きのこの旨味だし)



◆創作精進料理コース/夏のなごりの彩り前菜3種盛り合わせ(精進がんもどき 菩提樹風、押し豆腐 煎り酒を添えて、涼やか寒天と白菜のサラダ仕立て)、苺づくしの精進フカヒレスープ、南瓜と古代米のふっくら炒飯、秋への移ろいデザート2種盛り合わせ(ジャスミン愛玉子ゼリー、紫芋もちのココナッツ月見団子)

2023年12月2日

緑川 明世 (天台宗僧侶)

冬

◆紹介レシピ/八宝粥、豆乳豆腐のあんかけ、冬の精進春巻き、エノキ茸のフライ(試食:八宝粥)



◆創作精進料理コース/アミューズ:一口豆乳豆腐のあんかけ、冬のはじまり前菜3種盛り合わせ(精進春巻き、白菜のピクルス、野菜のテリーヌ)、麩の五香粉炒め エノキフライ添え、精進ジャージャー麺、冬のデザート2種盛り合わせ(白木耳のココナッツミルク仕立て、胡麻砂糖風味のさつま芋フライ)

# 13 Activity

## 「お線香手づくり体験レッスン」開催 (於 仏教伝道センタービル) 2023年7月8日

■仏教行事に欠かせないお線香を手作りするワークショップを開催

仏教とつながりの深いお線香は、お墓参りやお仏壇にお供えするだけでなく、趣味として日常的に香りを楽しむためにも使われる馴染み深いアイテムですが、手作りできることはあまり知られていません。そこで自身で手作りしたお線香でお盆のお参りをしていたらこうと、ワークショップ形式の講座を開催しました。



今井氏

今井麻美子氏をお迎えしました。最初に仏教と香りの歴史、沈香（じんこう）、白檀（びやくだん）、丁子（ちようじ）などの香料の解説をしていただき、その後はグループごとに目指

す香りを決め、香料を混ぜて練り、絞り出す作業を行いました。かなりの力が必要な作業でしたが、参加者の皆さんは、お互いに助け合いながら楽しんでいらっ



# 14 Activity

## 「体感する仏教く鎌倉編く」開催 (於 円覚寺、建長寺) 2023年12月2日

仏教をより身近に感じ、実体験してもらおうことをテーマにした「体感する仏教」を令和5(2023)年12月2日、晴天

に恵まれた鎌倉にて開催。前回(2022年)の目黒編に続く4回目の開催となりました。

第一部の臨済宗円覚寺派大本山円覚寺では、蓮沼直應氏(臨済宗円覚寺派教学部長)より円覚寺の歴史や坐禅に関する説明をいただき、参加者全員で坐禅を実践。蓮沼氏から直接指導を受けました。第二部の臨済宗建長寺派大本山

建長寺では、講堂で昼食をとりながら、永井宗明氏(臨済宗建長寺派教学部長)より、建長寺発祥のけんちん汁につ



円覚寺での座禅



建長寺 半僧坊

せていただきました。

今年度の開催についての最新情報は当協会公式サイト・SNSをご確認ください。

15  
Activity

「願いの一字コンテスト2024」開催  
(於浄土宗大本山増上寺)



ご挨拶する伊藤広喜氏



願いの一字「穩」を揮毫する鈴木猛利氏



増上寺境内に展示

令和4 (2022) 年に続き、新年の願いを込めた漢字一字を募集するコンテスト「公募期間…令和5 (2023) 年10月15日〜12月15日」を開催しました。

今回は不穏な国内外の情勢を反映し、社会の状況や心の平穏を願う「穩」の一字が選定されました。

今年の一字は令和6 (2024) 年1月5日、大

本山増上寺大殿前広場にて鈴木猛利氏 (書家) の揮毫により発表。全身を使い、一画一画、丁寧に祈りを込めて書かれ、会場から拍手が起りました。

伊藤広喜氏 (大本山増上寺執事) は「多くの方が仏のみ教えに出会い、心穏やかに過ごされますよう念じています」と挨拶されました。当日は17時まで増上寺境内に展示され、多くの方が書をバックに記念撮影されていました。

# 16 Activity

## 仏教初心者講座

### 「一から学ぶ日本の仏教」

#### 年間開催報告

開催月	テーマ	講師名 (敬称略)
4月	天台宗・最澄	小林恵俊 (天台宗正明寺 法嗣)
5月	真言宗・空海	天野高雄 (高野山真言宗高蔵寺 住職)
6月	浄土宗・法然	工藤量導 (大正大学 専任講師)
7月	浄土真宗・親鸞	井上見淳 (龍谷大学 准教授)
8月	時宗・一遍	岩田尚登 (時宗満福寺 住職)
9月	臨済宗・栄西	松山大耕 (臨済宗妙心寺派退蔵院 副住職)
10月	曹洞宗・道元・瑩山	宇野全智 (曹洞宗総合研究センター 常任研究員)
11月	日蓮宗・日蓮	互井観章 (日蓮宗経王寺 住職)



定例講座 (11月講師: 互井観章氏)

#### 大阪で開催! 「仏教初心者講座「一から学ぶ日本の仏教」

日本仏教の基礎を学ぶ機会を提供するため、各宗派の教義や成り立ち、宗祖と中興の祖について学ぶ「仏教初心者講座「一から学ぶ日本の仏教」」を大阪で開催しました。令和5(2023)年度は、会場を東京から大阪へ移し、オンラインも併用することで



特別編講師 (左から工藤氏、井上氏、岩田氏)

#### 特別編 「くらべてみた浄土の教え」開催 2024年2月22日

#### 浄土宗×浄土真宗×時宗 日本の浄土系三宗派の比較講座をモダン寺で開催

浄土宗と浄土真宗、そして時宗という、密接な関係にある三つの宗派について、もう一步深い学びの機会を提供しました。浄土真宗本願寺派本願寺神戸別院を会場にして、オンライン配信併用で開催。浄土の教えを鼎談形式で解説していただきました。

念仏、往生、重視する經典の違いなど、さまざまな視点から「浄土」をとらえることによって、各宗祖の考え、三宗派それぞれの信仰、それらによって培われてきた各教団の思想体系や歴史について学びを深められる講座となりました。

「各宗派の僧侶が登壇して議論する比較講座は珍しく、大変貴重だ」というご意見をいただき、宗派を超えた活動の重要性を再認識する機会となりました。

新たな受講者が増え、より多くの地域の方がたにご参加いただくことができました。参加者からは、「教えだけでなく歴史的な背景や、どうしてそのような教えをききました。」「説明しているのかなど、本当に勉強になりました。」「歴史だけでなく、先生の体験から来る言葉が沢山あったので楽しく学べました」など、さまざまな感想をいただきました。

# 令和5(2023)年度 BDKシンポジウム開催

Symposium

## 各講演概要

### 第32回

#### テーマ：「石仏の魅力とフォト法話」

於 仏教伝道センタービル 2023年7月13日

榎村修治氏（写真家）と高橋直暉氏（高野山真言宗僧侶、写真家）をお迎えして、「石仏の魅力とフォト法話」をテーマに講演会を開催しました。

榎村氏には「石仏の魅力～撮り方のコツ」と題し、長年のフィールドワークで培った経験や知識を、実際の写真を

スライドに映しながら丁寧にお話しいただきました。

高橋氏には「フォト法話～いのちを撮る」と題し、昆虫を中心とした生き物のありのままの姿を切りとった躍動感あふれる写真を披露。撮影テクニックのみならず、僧侶兼写真家として撮影の心構えをお話しいただきました。



榎村氏



高橋氏

### 第33回

#### テーマ：「人生のみちしるべ」

於 仏教伝道センタービル 2024年1月27日

当協会発行の『みちしるべ 布施』の執筆者である釈徹宗氏（相愛大学学長）を講師にお招きし、「人生のみちしるべー仏教者を支えた言葉」と題し、講義いただきました。会場・オンラインあわせて約100名が参加。釈氏は、自身の支えとなった7つの言葉を紹介し、「言葉の持つ力」の大きさについて実体験を交えて力説されました。

最後に「仏教には、人生の指針となる言葉がある。多くの言葉と出会ってほしい。またそのような言葉と出会えそうな場所に足を運んでいただきたい」と講義を締めくくられました。



釈氏

## 「新仏教教団を学ぼう」開催報告 於 仏教伝道センタービル

### 連続講座「新仏教教団を学ぼう」ハイブリッド形式で開催！

明治時代に成立した日本の仏教教団について学ぶ機会を提供するため、宗教学者による総論、各教団の指導者から教義や展開を学ぶ連続講座「新仏教教団を学ぼう」を開催しました。オンラインを利用した首都圏以外からの受講者も多く、伝統仏教教団との接点や違いを知ることので

きるユニークな講義が続き、充実したものとなりました。

参加者からは、「在家仏教教団のなりたちや、既存の教団が衰退してきた原因も歴史的にダイナミックに語られ、理解しやすかった」「仏教の多様性を知ることができて面白いと思います」などの感想をいただきました。

開催月	テーマ	講師名（敬称略）
10月12日	総論「仏教系新宗教について」	島藺 進（東京大学名誉教授）
11月 9日	「孝道教団について」	岡野正純（孝道教団総理）
12月14日	「立正佼成会について」	庭野統弘（立正佼成会主席）
1月11日	「真如苑について」	西川勢二（真如苑教務長）
2月 8日	第34回BDKシンポジウム	全員登壇



シンポジウムで発言する島藺氏（左から2番目）

### 第34回

## テーマ：「新仏教教団を学ぼう」

於 浜離宮朝日ホール 2024年2月8日

連続講座に出講いただいた講師全員が集合し、これまでの発表を踏まえて「新仏教教団は伝統仏教の何を引き継ぎ、何を特徴としているのか（連続性と独自性）」を中心に議論しました。

また、来世とは何か、死後どうなるのかをそれぞれに説明いただいたことで各教団の違いが明確になりました。互いの信仰心を尊重し、異なる認識の上でどのような価値観ならば共有ができるのかを発信していただきました。



左から岡野氏、庭野氏、西川氏

# 現代人のための 「月1精進料理生活」のすすめ

## 「こころを豊かにする精進料理教室」より



緑川 明世

(みどりかわ・みょうせい)  
天台宗僧侶

平成元(1989)年、天台宗比叡山行院にて四度加行を受け僧侶となる。写経、座禅、精進料理など仏教文化の体験を通し、心身を健やかに育む仏教的な生き方を紹介している。マクロビオティックリマッキングスクール師範科を終了し、調理師でもある。

お寺などで伝統的な作法でいただく本格的な精進料理から、カフェやレストランで動物性のものを使用しない料理をいただくことなど、一口に“精進”とはくくれないほど、近年、様ざまなたちで提供がなされている「精進料理」。

日々を忙しく過ごされている方がたにとっては、常に栄養のバランスを考え、手間暇をかけて調理したものをゆっくりといただくことは難しいことも多いかと思ひます。

令和5(2023)年度は、当協会主催で「こころを豊かにする精進料理教室～食を通じて仏教を学ぶ」と題し、全4回で“精進料理”を通じて仏教文化に親しんでいただく機会を設けましたが(P.25参照)、その中から手軽にご自宅でも作っていただけるレシピをご紹介します。月に1度でも、食材ひとつひとつを大切に、感謝しながらいただくことで、心と体のメンテナンスにもなり、おすすめです。

## 冬の精進春巻き



2023年の料理教室にてご紹介したのは“冬”バージョンですが、季節毎にお好みの旬野菜を取り入れれば、あっという間に季節の精進春巻きになります。

### 材料(10本分)

- 白菜 2枚 ●人参 50g ●干し椎茸 2枚 ●乾燥きくらげ 5g
- 油揚げ 1枚 ●春雨 30g ●タケノコ 120g ●醤油 大さじ2
- だし汁 大さじ4 ●生姜 適宜 ●片栗粉 少々 ●小麦粉 適量
- 揚油 適量 ●春巻きの皮 10枚(室温に戻しておく)

### 作り方

- 1 春雨は茹でてから切っておき、きくらげは水で戻し、千切りにする。
- 2 椎茸、タケノコ、人参は千切りにし、白菜は葉と軸の部分を切りわけ、葉は細切り、軸の部分は2～3等分に切り分け、繊維の方向に千切りにする。
- 3 油揚げも千切りにし、だし汁と醤油少々で煮付ける。
- 4 フライパンを熱し、ごま油を入れ、生姜と2の具材に白菜の軸の部分を加え、炒める。
- 5 さらに1の春雨、白菜の葉の部分、3の油揚げを加えて炒め、だし汁と醤油を加えて炒め合わせる。
- 6 5に水溶き片栗粉を加えまぜ固めにまとめ、バットにあげて良く冷ます。
- 7 全ての具材を春巻きの皮で巻き、巻き終わりを水溶き小麦粉でのりづける。
- 8 揚油を低温にし、春巻きを入れ、中温で揚げながら上下を返してきつね色になるまで揚げ、油をよく切る。



2023年冬の料理教室(緑川氏指導)



# 海外協力機関のご紹介

## 北米地区

米国仏教伝道協会  
ハワイ仏教伝道協会  
カナダ仏教伝道協会

## 中米地区

メキシコ仏教伝道協会  
メキシコ恵光寺

## 南米地区

南米仏教伝道協会

## 欧州地区

ヨーロッパ仏教伝道協会  
ドイツ恵光日本文化センター  
英国仏教伝道協会  
ポーランド仏教伝道協会

## アジア地区

アジア仏教伝道協会  
台湾仏教伝道協会

日本国外には、現在9カ国10カ所にそれぞれ独立した“仏教伝道協会（通称：BDK）”があり、日本の仏教伝道協会と相互に連携しながら、特に「仏教聖典」の頒布活動を通じて仏教精神、仏教文化を伝えています。

# 海外協力機関のご紹介



## お問い合わせ一覧

●各国での「仏教聖典」頒布やその他活動の詳細に関するお問い合わせは、お近くの仏教伝道協会までお願いします。

### 北米地区

米国仏教伝道協会  
BDK America

1675 School Street,  
Moraga, CA 94556 U.S.A.  
Tel: +1(925)388-0067 Fax: +1(925)388-0331  
<http://www.bdkamerica.org> (対応言語: 日本語・英語)

ハワイ仏教伝道協会  
BDK Hawaii

Suite 403, 1750 Kalakaua Avenue  
Honolulu, Hawaii 96826, U.S.A.  
Tel: +1(808)942-1511 Fax: +1(808)942-2622  
E-mail: [bdkshi@hotmail.com](mailto:bdkshi@hotmail.com)  
<http://www.bdkhawaii.com> (対応言語: 英語)

カナダ仏教伝道協会  
BDK Canada

c/o Mitutoyo Canada Inc.  
2121 Meadowvale Blvd.  
Mississauga, ON, CANADA L5N 5N1  
Tel: +1(905)821-6202 Fax: +1(905)821-4968  
E-mail: [honjo@bdkcanada.com](mailto:honjo@bdkcanada.com)  
<http://www.bdkcanada.com> (対応言語: 日本語・英語)

### 中南米地区

メキシコ仏教伝道協会／メキシコ恵光寺  
BDK Mexico

Protonagación Eugenia No. 17, Colonia Nápoles,  
Alcaldía Benito Juárez, CDMX, C.P.03810, MEXICO  
Tel: 52(55)5543-0507  
Email: [contacto@ekoccj.com](mailto:contacto@ekoccj.com)  
<http://ekoccj.com> (対応言語: 日本語・スペイン語・英語)

### 南米地区

南米仏教伝道協会  
BDK South America

a/c Mitutoyo Sul Americana Ltda.  
Avenida Mimes, 25 - Jardim Ermida I  
CEP: 13212-216 - Jundiá - SP, Brasil  
Tel: +55(11)5643-0006 Fax: +55(11)5641-3745  
E-mail: [bdk@mitutoyo.com.br](mailto:bdk@mitutoyo.com.br) (対応言語: 日本語・ポルトガル語・英語)

### 欧州地区

ヨーロッパ仏教伝道協会／ドイツ恵光日本文化センター  
BDK Europe/EKO-Haus der Japanischen Kultur e.V.

Brüggener Weg 6,  
40547 Düsseldorf, GERMANY  
Tel: +49(211)577918-0 Fax: +49(211)577918-219  
E-mail: [bdk@eko-haus.de](mailto:bdk@eko-haus.de)  
<http://www.eko-haus.de> (対応言語: 日本語・ドイツ語・英語)

英国仏教伝道協会  
BDK U.K.

c/o Mitutoyo(UK)Ltd. Joule Road, West Point  
Business Park, Andover, Hampshire SP10 3UX U.K.  
Tel: +44 1264-353123 Fax: +44 1264-354883  
E-mail: [BDK.UK@mitutoyo.co.uk](mailto:BDK.UK@mitutoyo.co.uk) (対応言語: 英語)

ポーランド仏教伝道協会  
BDK Poland

c/o Mitutoyo Polska Sp.z o.o.  
ul. Graniczna 8A 54-610 Wrocław, POLAND  
Tel: +48(71)354 83 50 Fax: +48(71)354 83 55  
(対応言語: ポーランド語・英語)

### 日本以外のアジア地区

アジア仏教伝道協会  
BDK Asia

c/o Mitutoyo Asia Pacific Pte. Ltd.  
24 Kallang Avenue, Mitutoyo Building,  
Singapore, 339415, SINGAPORE  
Tel: +65 6294-2211 Fax: +65 6299-6666  
E-mail: [bdk@mitutoyo.com.sg](mailto:bdk@mitutoyo.com.sg)  
<https://bdkasia.org> (対応言語: 日本語・英語・中国語)

台湾仏教伝道協会  
BDK Taiwan

4F., No.71, Zhouzi St., Neihu Dist.,  
Taipei City 114, TAIWAN  
Tel: +886(2)5573-5913 Fax: +886(2)8752-3267  
E-mail: [bdktaiwan@yahoo.com](mailto:bdktaiwan@yahoo.com)  
<https://www.bdk.tw> (対応言語: 日本語・英語・中国語)

「BDKグローバル会議」4年ぶりの開催  
 (於 仏教伝道センタービル) 2023年10月26日・27日



BDKグローバル会議出席者



日本国外の9カ国10箇所に、独立した仏教伝道協会(通称「BDK」)があり、日本の仏教伝道協会と相互に連携しながら、「仏教聖典」の頒布活動を中心に仏教精神・文化を伝えるための活動を行っています。

これまで2年に1度、各国BDK間の協力関係構築を目的に「BDKグローバル会議」を日本で開催してきましたが、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の影響をうけ、令和元(2019)年を最後に開催が出来ずにいました。

4年ぶりの開催となった本会議は2日間の日程で実施し、各団体のコロナ禍での活動報告やコロナ後を見据えた今後の活動方針についての議論を行いました。これまでの活動内容に固執することなく時代や地域の状況に即した柔軟な活動を行っていくために、会議では様々な意見が挙がりました。

仏教伝道協会は、今後も世界に広がる協力機関と共に、伝統と革新を組み合わせたかたちで、グローバルな社会に対応する活動を展開していきます。



沼田仏教学講座担当者会議出席者

## 米国仏教伝道協会 BDKアメリカ

(アメリカ・カリフォルニア州)



### 令和5(2023)年の 活動報告

新型コロナウイルスの世界的大流行からの回復が続く中、私たちは徐々に通常の活動に戻っています。数年間にわたり、理事会を電子メール上で開催してきましたが、2023年はカリフォルニア州バークレーのBDKアメリカのオフィスにて対面で行うことができました。会議では理事の再選を行い、新たな顧問として仏教研究所のポーラ・アライ教授を迎えました。

ホテルへの「仏教聖典」の配布は、パンデミックの影響で依然として低調ですが、令和6(2024)年にホテルへの配布を増やすことを目指し、アジア系アメリカ人ホテル経営者協会の地域展示会に再び「仏教聖典」紹介ブースを出展しています。「仏教聖典」以外の出版物、例えば「ブツダの教え」などは、読者が短くて理解しやすいものを好む傾向が強く、多くの需要があります。英訳大蔵経の翻訳は、印刷版が2,000部以上配布され、更にウェブ版が11,000部ダウンロードされるなど、人気を博しています。

ます。BDKアメリカの編集委員会は2023年10月に東京で開催されたBDKグローバル会議と連動して会合を開き、第一シリーズを完成させるための出版計画を立てるとともに、次の英訳大蔵経シリーズについて検討を開始しました。

沼田智秀仏教書籍優秀賞は、仏教研究分野で最も権威ある荣誉の一つとして認識されるようになりました。直近ではカリフォルニア大学バークレー校・沼田仏教研究センターによって指名された委員会が、スタンフォード大学のジョン・キースニック教授の著書『中国の仏教史学』(コロンビア大学出版社)を2023年度受賞書籍として選出しました。授賞式とシンポジウムは、2023年12月1日にバークレー浄土真宗センターで開催されました。アメリカおよびカナダの大学に設立された沼田仏教学講座の担当者たちは、アメリカ宗教学会の年次会議の機会を利用して、テキサス州サンアントニオで会合を開催しました。シカゴ大学神学校で初代沼田仏教学講座担当教授に指名されたステファン・リハ教授を歓迎することができたことは大変喜ばしいことでした。

BDKアメリカの支援を受けて、ワシントンD.C.の恵光寺は必要な修理と改装を完了しました。恵光

新オーディオビジュアルシステムを導入した  
ワシントン恵光寺



寺は、インターネットを通じて法要の無料配信を開始するなど、最新のオーディオビジュアルシステムを導入しました。多くの寺院が檀家数の減少に苦戦している中、恵光寺は最新技術を活用してより幅広い層にアプローチし、増加するオンライン参加者を更に増やすためのモデルとなるかもしれません。

### ハワイ仏教伝道協会 BDKハワイ (アメリカ・ハワイ州)



#### 令和5(2023)年の 活動報告

2023年は、新型コロナウイルスのパンデミック後の業務を正常化していくための取り組みが続き、毎年対面で開催してきた理事会を久しぶりに以前と変わらない形式で開催できたことは喜ばしいことでした。新たな日常に向け、更なる発展を願い、長谷部由香氏(本派本願寺ハワイ別院)と石川康仙氏(ハワイ浄土宗)の2名を新理事として迎えました。

「仏教聖典」の頒布活動については、徐々に回復傾向にあり、年間で2,000冊以上を配布することができました。各寺院がお盆のイベントを対面で再開するにつれて、「仏教聖典」の需要が高まり、加えて「ブツダのおしえ」などの小冊子は依然として人気があり、4,000冊以上を配布することができました。

またBDKハワイが長年運営してきたBDKアパートは老朽化が著しく、修繕費が増え続けていることを鑑み、理事会は建物を売却して書籍の頒布事業に適した事務所スペース

スを借りることを決定し、令和6(2024)年中に移転が完了する見込みとなりました。一方で、2023年8月のマウイ島ラハイナでの山火事によって歴史ある仏教寺院3ヶ寺が喪失してしまつたことに深い悲しみを感じています。真言宗、浄土宗、浄土真宗本



レズリー・クライン氏(左) ジェフ・ギア氏(右)



パネッサ・サッソン教授

願寺派の寺院が完全に破壊されました。回復には数年かかる見込みといわれており、BDKハワイは支援活動に備え準備をし、また地域の他団体と協力して公共プログラムを後援しています。

山火事の悲劇にあたり、「BDKフジタニ異宗教間プログラム」は「信仰と復興・灰からの再生」と題したプログラムを企画し、パネリストの一人として、ラハイナ本願寺に長く在籍するネイティブハワイアンのメンバー、シャーマン・トンプソン氏にご登壇いただきました。

令和4（2022）年のZoomプログラムでは、パネッサ・サッソ

ン教授とその著書であるヤショーダラーに関する本が非常に人気でした。彼女はブツダの妻であるヤショーダラーについての本を執筆し、その後、ハワイ本願寺とハワイブック&ミュージックフェスティバルと提携して、2冊目の著書である「The Gathering」についてのプレゼンテーションを対面形式で行いました。これは、初めてブツダの弟子になった女性たちを描いた小説で

活動報告

**令和5（2023）年の**

2023年は翻訳出版事業と、日系コミュニティや教育機関との連携事業を中心に、より幅広い事業活動を展開しました。

様々な活動を行った1年でしたが、8月にメキシコ4都市で実施された盂蘭盆会法要（お盆）と、9月に小学校から大学までメキシコ国内計5校で実施した平和週間が2023年のハイライトとなりました。

メキシコ各地の日系コミュニティにおける盂蘭盆会法要は、ご先祖さまへの純粋で温かい想いに溢れています。日系3世ともなると、その大

**メキシコ仏教伝道協会**  
**BDKメキシコ**  
(メキシコ)



山下泰昭氏（右）

す。カナダ・モントリオールのマリ・アノポリス・カレッジで教鞭を執るサッソン氏は、生き生きとした描写を通じて、しばしば見過ごされ忘れられがちなブツダの女性の弟子たちを蘇らせました。

そして、ホノルルの浄土寺で行われる花まつりで開催されたジェフ・ギア氏のイベントを後援しました。ギア氏はブツダの前世の物語であるジャータカ物語を語り、バイオリニ

ストであるレスリー・クライン氏が彼の語りに合わせて、悲しみ、喜び、怒り、恐怖などの感情を音で表現し、観客を驚かせました。

BDKハワイでは、引き続き書籍の頒布活動や地域社会との共同プログラム開催などを通じて仏教精神・文化をご紹介できる機会を作っていきたくと考えています。

半が生まれも育ちもメキシコという方が多いのですが、どこか日本を感じる面影があります。『日系コミュニティ』と一口に言っても、地域によって状況は大きく異なります。初めて訪れたアメリカ国境の町、ピエドラス・ネグラスは特に印象的でした。ある日本人文化人類学者が、自分たちのルーツを探るプロジェクトを実施したことがきっかけで、日系人同士が集まり、日本、メキシコ、両国の持ち味を活かし、よりよい社会のために貢献しよう、という動きが起こっています。その一環として、BDKメキシコによる盂蘭盆会法要が実施され、今をどう生きるか、誓いを新たにできる機会として、多くの方にとって有意義な時間になったようです。

9月21日の国際平和の日と、9月

26日の核兵器廃絶のための国際デーにちなんで、長崎市に投下された原爆の被爆者であるメキシコ在住の山下泰昭氏による講演会を開催しました。小学校から大学まで5校を巡回し、若年層を中心に約1,400名に向け、平和のメッセージを届けることができました。多くの学生たちが大変熱心に、山下氏の体験談に耳を傾け、涙している様子が印象的でした。世界各地で戦争が続く現代に、戦争がいかに無意味であるかを再確認し、戦争をなくすためにできることは何かを考える、大変貴重な機会となりました。簡単なことではありませんが、これからもBDKメキシコでは、身近なところから平和を願う活動を展開していきたいと考えています。

## カナダ仏教伝道協会 BDKカナダ (カナダ)



令和5(2023)年の

活動報告 特別編

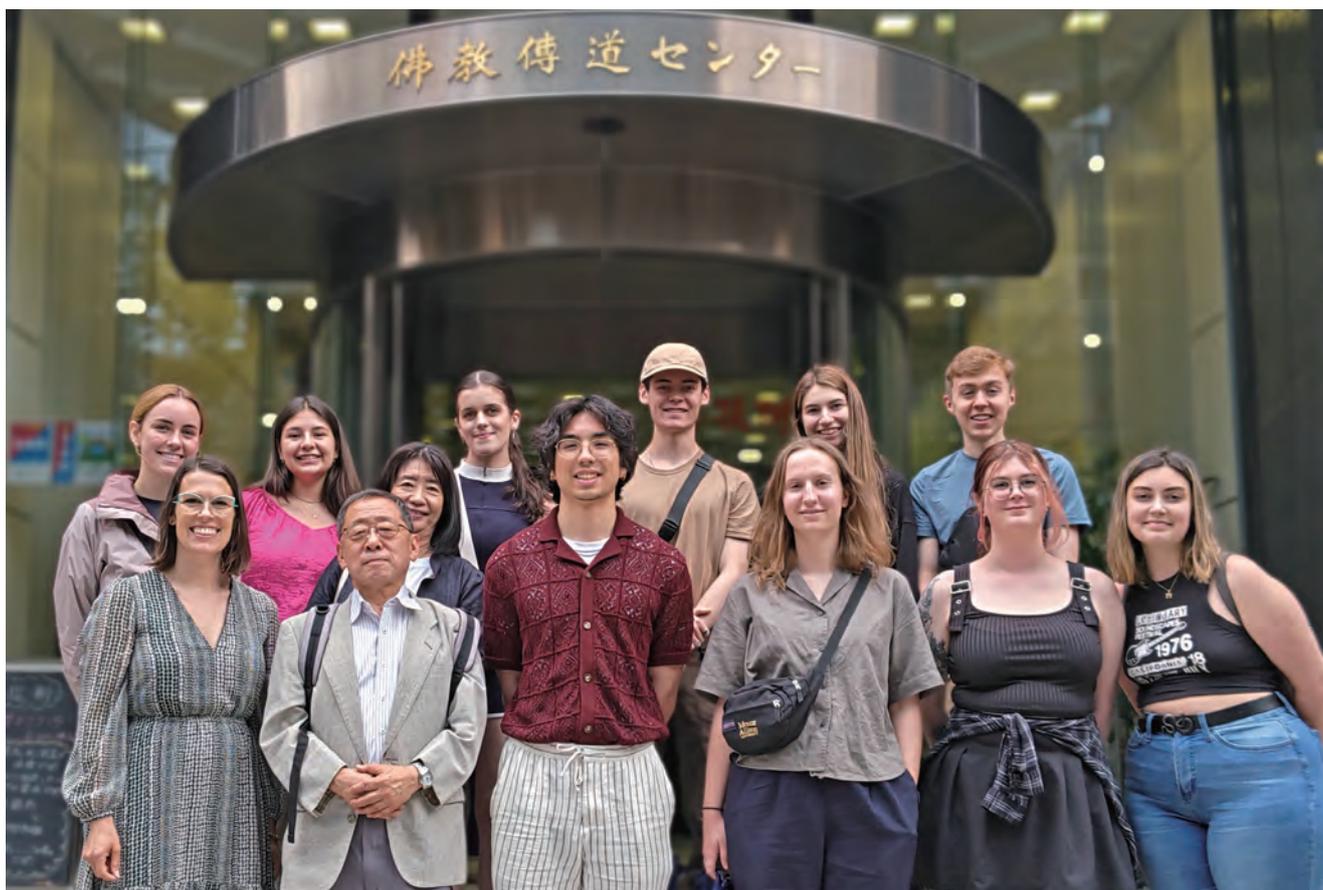
BDKカナダでは、カナダ国内の大学院に在籍している(またはカナダ国籍の)研究者が仏教に関する研究や学習を日本で行うことを目的とした「BDKカナダ大学院奨

学金 (BDK Canada Graduate Fellowship) という奨学金制度を設けています。仏教の研究と理解を促進することを目的とし、平成16(2004)年に設立されました。優れた学術成績を持つ大学院生に対して授与され、彼らが訪日し、仏教に関する研究や学習に専念できるように支援しています。

今回は2004年、第1回目の受給者であり、現在はカナダのマウンテン・アリソン大学にて活躍されている



メキシコ北部ピエドラス・ネグラス市における盂蘭盆会法要



仏教伝道センタービルを訪問した一行（東京）

るスージー・アンドリュース教授が、同大学の学生を引率して実施した京都での課外研修の様子を、ご自身の日本留学時代を振り返りながら報告してくださいました。

2023年にマウント・アリソン大学主催で実施した「京都課外研修」は、私たちの学生にとつて一生に一度の貴重な学びの機会を提供してくれました。そして、私自身にとつても、長年の夢が実現した瞬間でした。私の人生は2004年にBDKカナダ大学院奨学金の第一期生として選出された時から、大きく良い方向に変わりました。

日本では、関東と関西で学ぶ機会を得られ、これらの経験は私のその後の研究生活の基礎をつくり、そして研究者としてのキャリアの道筋を決定づけました。そのすべての経験は大正大学の一島正真教授（当時）のご指導によつて可能になりました。そして、この奨学金を受給した当時から、いつか自分の生徒たちに日本で仏教について学ぶ機会を与えることができる一島先生のような教授職に就きたいという希望を抱いていました。

DKカナダは、私が学生の時から現在まで継続的にカナダの若年層が仏教について学ぶための機会を提供・支援してくださっています。

この度の課外研修は、異なる学部・専攻の11名の日本仏教に興味のある学部生が集い、彼らに貴重な学びの機会を提供しました。現在に至るまでの仏教の教えを現代人にとつて永続的に意味のあるものにするためのアプローチをどのように考えるのかを探求する貴重な機会です。京都では若林佛具製作所、さつま屋法衣店、南禅寺、西本願寺など様々な場所を訪れ、直接ご担当者からお話を伺いながら学びを深めました。

そしてカナダに帰国する前には、東京にある仏教伝道協会（BDK）事務局にも訪問させていただく機会を得ました。東京の事務局で過ごした1日は、これまですべての体験が、「BDKファミリー」のご支援のもとで実現できたことを再認識する機会となりました。お世話になったBDKカナダ、アメリカ、日本のすべてのスタッフの皆さまに改めて感謝を申し上げたいと思います。

そして今回の日本での経験は、多くの参加学生に大きな影響を与えました。ある学生は、日本語研修のために関西に残り、日本文化を更に深く学ぶために大学院への進学を決め、ある学生は、研修での経験に



### スージー・アンドリュース

(マウント・アリソン大学教授、哲学博士)

2004年にBDKカナダ大学院奨学金の最初の受給者に選ばれる。Royal Society of Canada's College of New Scholars, Artists, and Scientists(カナダ王立協会が運営する新時代の研究者、芸術家、科学者のための学術団体)のメンバー(2022年~2028年)でもあり、2023年には、カナダの高等教育レベルにおける教育と、そのリーダーシップにおいて最も権威があるとされている「3Mナショナル・ティーチング・フェロー」10名のうちの1名に選出された。

ついでにスピーチによって日本語コンテストで2位を獲得し、またある学生は沼田恵範氏の生涯とBDKと(株)ミットヨが教えてくれる慈悲の精神を基本としたビジネスについて学ぶため1万ドルもの奨学金を受給できることになり、その後の学生たちの活躍は目覚ましいものがあります。

ます。

幸運なことに、2024年にも新たな学生たちと共に京都へ戻る機会があり、そのことを考えると、私が学生時代に沼田恵範氏から受けたインスピレーションとBDKの寛大さが、私たちの大学や個人にもたらした影響は計り知れず、感謝の気持ち

### アジア仏教伝道協会 BDKアジア (シンガポール)

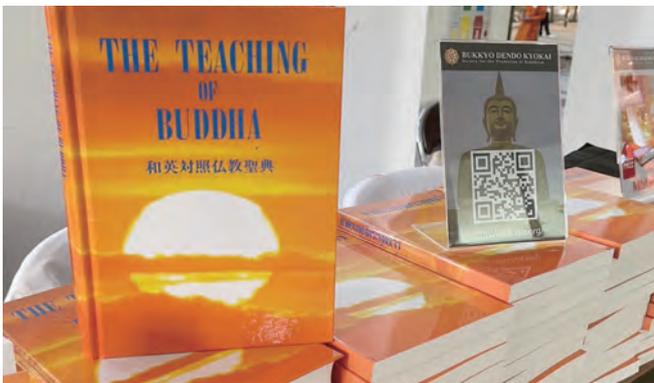


### 令和5(2023)年の 活動報告

BDKアジアでは、2023年11月22日~25日にタイの展示会場BITEC (Bangkok International Trade & Exhibition Center)で開催されたMETALEX2023にて、(株)ミットヨのご協力のもと、ミットヨのブースを訪問された方を中心に「仏教聖典」1,728冊の配布を行いました。METALEXはタイ及びASEAN地域で最大の製造業展示会で、ミットヨ・タイは毎年ブース出展しており、ミットヨ製品の展示とBDKコーナーを設け「仏教聖典」のご紹介と配布を行います。また、2023年12月16~17日に開催されたマハマクット仏教大学卒

でいっぱいです。20年間、私の研究、教育、ライフスタイルはBDKの支援によって支えられ、高められてきました。そして、今後も微力ではありますが、地域社会に貢献し、仏教的な価値観や教訓を多くの方がに共有できることに幸せを感じています。

業式のリハートサルおよび式典に出席した卒業生や関係者を中心に「仏教聖典」1,602冊を配布し、今回が4回目となります。今後も「仏教聖典」の頒布活動を通じてさらに活動の幅をひろげていきたいと考えています。



卒業式で配布される「仏教聖典」



卒業生と「仏教聖典」



マハマクット大学卒業式



METALEXでのミットヨ・タイプース (BDKアジア)

## ヨーロッパ仏教伝道協会 BDKヨーロッパ (ドイツ)

### 令和5(2023)年の 活動報告

BDKヨーロッパでは、2023年1月から「仏教」や「お経」により親しんでいたたく企画として、毎月の定例勤行の後に写経会の開催を始めました。以前から個人的に写経を行っている方、日本語を学んでいる方、漢字を書くのが好きな方など、様々な方がたにご参加いただいています。

5月にはJapan Tag(日本デー)が開催され、BDKヨーロッパでは恵光センターにて2019年以来的の特別開館を実施しました。当日は天



候にも恵まれ、館内での2つの展示会開催や本堂での読経を行い、推定約1,000名の来場者があり、これほど多くの方が恵光センターに来場されたことはコロナ禍以降初めてでした。

9月1日には、恵光センター入仏30周年記念奉告法要が厳修されました。法要に先立ち、浄土真宗本願寺派本願寺第25代専如ご門主様の御手植えによる椿の記念植樹が行われ、その後、築地本願寺雅楽会の美しい雅楽の音色に伴われ恵光幼稚園園児計40名による稚児行列が行われました。続いて、ご門主様御親修による記念法要が執り行われ、御親教も賜りました。法要にはノルトライン・ヴェストファーレン州・デュッセルドルフ市の行政官をはじめ、在独の日本文化普及に従事する方がた、



写経会 (BDKヨーロッパ)



築地本願寺雅楽会によるコンサート（「第21回仏教音楽祭」）

仏教関係者、その他有縁の方がたなど総勢58名をお招きしました。その後、引き続きご門主様御親修による帰敬式が行われ、ドイツ国内・スペインから総勢18名がお剃刀の儀式を受けました。

入仏30周年記念奉告法要の翌日にはデュッセルドルフ市内ロベルト・シューマン・ホールにて築地本願寺雅楽会による記念雅楽コンサート

ト（「第21回仏教音楽祭」）が催されました。前半は雅楽楽器の紹介を日独語の解説付きで行い、その後「越天楽」と「陪臚」が演奏されました。後半では舞楽を披露。「蘭陵王」を1名の舞人が、「仁和楽」を2名の舞人が演じ、ドイツ国内外を問わず約400名の方にご来場いただきました。



「日本デー」で賑わう恵光センター



## 改良（かいりょう）

いろんなことで行き詰まった時、私はどこに問題があるのか、どこをどう改めるべきかを考えます。

改めようとする私の思いは、

どこをどうすれば良くなるかと考えるのが普通です。

ところが改めてみると、前より悪くなつたということが、私たちのやる事にはしばしばあります。

欠点を改め、さらに良くすることが改良ですが、

私たちの場合、長所を欠点と思い違いし、

長所をいじくって改良のつもりが改悪になってしまうことがあります。

改めるということで一番大切なことは、

自分の思いこみを一掃することです。

さらにいいますと、どれほど貴重な過去の経験であっても、

どれほど大切な知識であっても、それらを横において、

初心になって、一から他を見学して歩くことです。

見学して歩くと、

じっとしてはとうてい気付くことのない点がみえてくるものです。

（仏教伝道協会 第二代会長 沼田智秀 『ささえあって―百八つのおもい―』より）